



全国知識製造業会議 2025

企業年鑑

開催日時：2025年4月18日（金）

開催場所：東京都立産業貿易センター浜松町館 4F 展示室

全国知識製造業会議2025は パートナーと共に運営しています

主催



株式会社リバネス

共催



株式会社みずほ銀行

共創



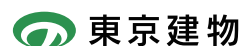
UntroD Capital Japan株式会社



弁護士法人内田・鮫島法律事務所



KOBASHI HOLDINGS株式会社



東京建物株式会社



株式会社バイオニア・コーポレーション



長谷虎紡績株式会社



株式会社山田商会ホールディング

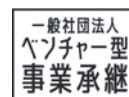
後援



独立行政法人中小企業基盤整備機構



株式会社日本政策金融公庫



一般社団法人ベンチャー型事業承継

連携支援機関



株式会社池田泉州銀行



株式会社大垣共立銀行



株式会社関西みらい銀行



株式会社群馬銀行



株式会社滋賀銀行



しのめ信用金庫



西武信用金庫



株式会社中国銀行



浜松いわた信用金庫



株式会社肥後銀行



株式会社広島銀行



株式会社北國フィナンシャルホールディングス

企業年鑑の役割

全国知識製造業会議は、知識と知識の組み合わせによって新たな知識をつくりだす場です。その知識によって、未解決の課題を解決し、世界を変えていくための場です。そして、共に未来をつくるパートナーとの出会いの場です。

この企業年鑑には、出展企業各社の卓越した技術や独自の強み、解決したい課題や実現したい未来が掲載されています。各社の先進的な取り組みや想いを、自社の特性とかけ合わせることによって、どのような新たな可能性が生まれるでしょうか。また、どのようなコミュニケーションをとることが、実り豊かな連携につながるでしょうか。その結果、どのような世界が実現することになるでしょうか。

ぜひそういった視点で、一社一社の内容をご覧ください。また、全国知識製造業会議 2025 において、既存の枠組みを超えて新たな知識をつくりだすための第一歩として、本企業年鑑をご活用ください。

Contents

パートナーロゴ一覧	1
タイムスケジュール	4
出展企業による「ショートピッチ」案内	5
会場マップ	6

事例紹介：知識製造業へのシフト

山田商会ホールディング

120 年続くガス工事会社が「ベンチャー化」 の先に見据えるビジョン	8
---------------------------------------	---

弁護士法人内田・鮫島法律事務所	14
株式会社リバネスキャピタル	15
株式会社 LabBase	16
株式会社サンコー技研	17
株式会社キャストム	18
KOBASHI HOLDINGS 株式会社	19
株式会社 Soillook	20
株式会社情報システムエンジニアリング	21
株式会社浜野製作所	22
サンケイエンジニアリング株式会社	23
株式会社木幡計器製作所	24
株式会社アオキシントック	25
成光精密株式会社	26
マイスターズグリット株式会社	27
株式会社 BIOTA	28
VUILD 株式会社	29
株式会社ジャパンモスファクトリー	30
テラル株式会社	31
神田印刷工業株式会社	32
有限会社ヴァンテック	33
沖電気工業株式会社	34
サンコーテクノグループ株式会社 WDS	35
シンクロア株式会社	36
シンニチ工業株式会社	37
株式会社樋口製作所	38

ugo 株式会社	39
有限会社モールドモデル	40
株式会社スタートアップクラス	41
株式会社リバネスノームズ	42
株式会社マイロプス	43
株式会社ジェ・スク	44
株式会社 e6s	45
株式会社三松	46
株式会社メトロール	47
FiberCraze 株式会社	48
長谷虎紡績株式会社	49
インテリジェント・サーフェス株式会社	50
東工業株式会社	51
東海興業株式会社	52
株式会社 UMIAILE	53
株式会社環境内水面資源研究所	54
株式会社イノカ	55
ShrimpTech JIRCAS 株式会社	56
株式会社 ARK	57
株式会社天地人	58
株式会社山田商会ホールディング	59
株式会社テラ・ラボ	60
株式会社 Liberaware	61
津南醸造株式会社	62
株式会社アグリノーム研究所	63
株式会社 Eco-Pork	64
UntroD Capital Japan 株式会社	65
ハドラスホールディングス株式会社	66
株式会社ハイドロネクスト	67
有限会社安久工機	68
株式会社メタジェン	69
株式会社 YDM	70
株式会社ヒューマノーム研究所	71
株式会社ツガワ	72
タピルス株式会社	73

タイムスケジュール

10:00	開会式
10:15	●全国知識製造業大賞 2024
10:30	オープニングセッション 新時代の中堅・中小とベンチャーが、日本と世界を変えていく ・山野 千枝 氏（一般社団法人ベンチャー型事業承継） ・永田 暁彦 氏（UntroD Capital Japan 株式会社） ・足立 龍生 氏（株式会社みずほ銀行） ・丸 幸弘 氏（株式会社リバネス） 
11:25	●出展企業による「ショートピッチ」
12:15	ブースタイム／昼休憩
13:00	基調講演 素材で世界を変える～老舗紡績企業の大きな挑戦～ ・長谷 享治 氏（長谷虎紡績株式会社） 
13:20	キーノートセッション すべての中堅・中小が東南アジアに進出すべき理由 ・山田 豊久 氏（株式会社山田商会ホールディングス） ・小橋 正次郎 氏（KOBASHI HOLDINGS 株式会社） ・鈴木 健吾 氏（津南醸造株式会社） ・熊本 大樹 氏（UntroD Capital Asia Pte. Ltd.） 
14:00	ブースタイム ミニセミナー 夢と技術を世の中に出す方法論 - 弁護士が語るリアルな技術法務の最前線 -
15:00	キーノートセッション 中小企業・スタートアップ・大手企業連携で実現するリジェネラティブ・シティ ・村上 和也 氏（テラル株式会社） ・井藤賀 操 氏（株式会社ジャパンモスファクトリー） ・笹井 浩太郎 氏（マイスターズグリット株式会社） ・長谷川 和宏 氏（株式会社リバネス） 
15:45	●ブースタイム
17:00	キーノートセッション 社会実装に不可欠なモノづくり戦略と知財戦略 ・手塚 裕亮 氏（KOBASHI ROBOTICS 株式会社） ・丸山 真幸 氏（弁護士法人内田・鯨島法律事務所） ・塚田 周平 氏（株式会社リバネス） 
17:45	閉会式

出展企業による「ショートピッチ」

● 11:25~12:15

● イベントエリア

出展企業 34 社が次々登壇し、自社の強みや解決したい課題、知識製造宣言などを会場の参加者に 90 秒でプレゼンテーションします。出展企業の理解を深める場、知識製造するためのヒントを探す場としてご活用ください。

登壇順	社名	ブース 番号
1	株式会社 ARK	44
2	ShrimpTech JIRCAS 株式会社	43
3	株式会社アグリノーム研究所	50
4	株式会社テラ・ラボ	47
5	株式会社メタジェン	56
6	株式会社ジェ・スク	31
7	株式会社サンコー技研	4
8	株式会社 YDM	57
9	インテリジェント・ サーフェス株式会社	37
10	株式会社マイロプス	30
11	シンクロア株式会社	23
12	サンコーテクノグループ 株式会社 WDS	22
13	株式会社情報システム エンジニアリング	8
14	株式会社ヒューマノーム研究所	58
15	株式会社キャストム	5
16	有限会社安久工機	55
17	東海興業株式会社	39

登壇順	社名	ブース 番号
18	有限会社モールドモデル	27
19	株式会社イノカ	42
20	株式会社 UMIAILE	40
21	株式会社 ジャパンモスファクトリー	17
22	有限会社ヴァンテック	20
23	神田印刷工業株式会社	19
24	シンニチ工業株式会社	24
25	株式会社 Soilook	7
26	株式会社ハイドロネクスト	54
27	テラル株式会社	18
28	ハドラスホールディングス 株式会社	53
29	VUILD 株式会社	16
30	株式会社 e6s	32
31	u g o 株式会社	26
32	株式会社木幡計器製作所	11
33	成光精密株式会社	13
34	弁護士法人 内田・鮫島法律事務所	1

会場マップ



ご案内

- トイレは受付を出た右手にあります。
- 展示会場内で飲食は可能です。ゴミは各自お持ち帰りください。
- 喫煙は2階の喫煙所をご利用ください。会場内は禁煙です。

会社名	ブース 番号
弁護士法人内田・鮫島法律事務所	1
株式会社リバネスキャピタル	2
株式会社 LabBase	3
株式会社サンコー技研	4
株式会社キャストム	5
KOBASHI HOLDINGS 株式会社	6
株式会社 Soilook	7
株式会社情報システムエンジニアリング	8
株式会社浜野製作所	9
サンケイエンジニアリング株式会社	10
株式会社木幡計器製作所	11
株式会社アオキシントック	12
成光精密株式会社	13
マイスターズグリット株式会社	14
株式会社 BIOTA	15
VUILD 株式会社	16
株式会社ジャパンモスファクトリー	17
テラル株式会社	18
神田印刷工業株式会社	19
有限会社ヴァンテック	20
沖電気工業株式会社	21
サンコーテクノグループ株式会社 WDS	22
シンクロア株式会社	23
シンニチ工業株式会社	24
株式会社樋口製作所	25
ugo 株式会社	26
有限会社モールドモデル	27
株式会社スタートアップクラス	28
株式会社リバネスノームズ	29
株式会社マイロプス	30

会社名	ブース 番号
株式会社ジェ・スク	31
株式会社 e6s	32
株式会社三松	33
株式会社メトロール	34
FiberCraze 株式会社	35
長谷虎紡績株式会社	36
インテリジェント・サーフェス株式会社	37
東工業株式会社	38
東海興業株式会社	39
株式会社 UMIAILE	40
株式会社環境内水面資源研究所	41
株式会社イノカ	42
ShrimpTech JIRCAS 株式会社	43
株式会社 ARK	44
株式会社天地人	45
株式会社山田商会ホールディング	46
株式会社テラ・ラボ	47
株式会社 Liberaware	48
津南醸造株式会社	49
株式会社アグリノーム研究所	50
株式会社 Eco-Pork	51
UntroD Capital Japan 株式会社	52
ハドラスホールディングス株式会社	53
株式会社ハイドロネクスト	54
有限会社安久工機	55
株式会社メタジェン	56
株式会社 YDM	57
株式会社ヒューマノーム研究所	58
株式会社ツガワ	59
タピルス株式会社	60

山田商会

山田商会

事例紹介：知識製造業へのシフト

株式会社山田商会ホールディング

120年続くガス工事会社が 「ベンチャー化」の 先に見据えるビジョン

1906年創業のガス工事会社である株式会社山田商会は、名古屋にガスの火が灯った歴史と共に誕生し、東海エリアにおけるガスインフラの普及を一貫して担ってきた。同社を中核とする株式会社山田商会ホールディングは、ガスに加えて水道・電気・空調・通信という幅広いインフラを10社のグループ会社によって総合的に支える事業を行っている。

そんな同社は現在、自らが「ベンチャー化」したような猛烈なスピード感で、ベンチャー連携、東南アジア進出、グローバルファンドへの出資を通じた新規事業の創出に邁進している。その背景にはどのような「狙い」と「熱」があるのか。知識製造業の実践モデルとして、中堅企業・中小企業はもちろんのこと、ベンチャー企業にとっても大いに参考になる同社の事例を紹介する。

代表取締役社長

山田豊久氏 インタビュー

創業時からの 「挑戦するDNA」で 世界と東海エリアを つないでいく

株式会社山田商会ホールディング
代表取締役社長

山田 豊久 氏

時代の変化に対応できた 理由は「泥臭さ」

— 山田商会ホールディングの中核会社である山田商会は、1906年の創業以来、約120年にわたり名古屋を中心とする東海エリアでガス工事を手がけています。まずはその歴史の始まりをお聞かせください。

山田 明治時代に名古屋市でガス事業が始まることになり、まさにガスの導管を地中に埋めていく、というタイミングで創業者の山田栄之助が声をかけられたことが始まりです。創業者はもともと兵庫の山奥の農家の出身だったのですが、自らの手で商売がやりたいという思いが強かったそうです。今風に言うとアントレプレナー精神の持ち主だったんですね。

— 具体的にはどのような経緯だったのでしょうか。

山田 当時、創業者は大阪の土木建

築会社でガス工事に携わっていました。そこに「名古屋でガス事業が始まる」という話が出てきて、大阪ガスの技術者だった岡本桜さん(後の東邦ガス初代社長)が技師長として赴任することになった。その際に、大阪ガスでの実績から創業者にも声がかかったんです。名古屋に移った後にも働きぶりを認められ、ガスの導管工事の責任者や、屋内配管工事へと仕事を広げていきました。

— まさに名古屋のガスの歴史と共に歩んでこられた。

山田 はい。工事の材料や方法は時代とともに変化していますし、現在はホールディングとして水道・電気・空調・通信と手がけるインフラの幅も広がっていますが、一貫してガス工事に取り組んできたことが当社の歴史です。

— 120年近く成長を続けてきた最大の理由について、どのようにお考えでしょうか。

山田 われわれ自身が常に変化してきた、ということに尽きます。これまで様々な変化がありましたし、中にはパラダイムシフトと呼べるものもありました。私自身が経験したものでいえば、主に二つあったと思います。一つは20年ほど前の自社営業化です。それまでの私たちの営業活動は、ガス事業者に向いていれば仕事をいただけるものでした。しかし工事会社が営業活動を共同で行うように制度が変わり、ガス事業者だけでなく広く外を向いて活動する立場へと大きく変化しました。

もう一つは東日本大震災以降の電力ガス自由化です。これによりガスだけでなく、電気や宅配水など、様々な物やサービスを提供する必要が出てきました。当社はこうした変化への対応に全力で取り組み続けています。

そして現在は、カーボンニュートラルへの対応という新たなパラダイムシフトの真っ只中にいます。エネルギーの使



まちの復興にも常に携わってきた。昭和34年伊勢湾台風後の復旧作業

い方のみならず、エネルギー全体のあり方が問われていますが、その中で山田商会ホールディングはどうあるべきかを考えています。

——そうした変化への対応がなぜ可能なのでしょう。

山田 根底には、当社に脈々と続く「泥臭さ」があります。例えば市街部のガス工事や大規模プロジェクトのガス工事など、内容が複雑で難しく、いわば効率の悪い仕事にも山田商会は積極的に取り組んできました。こうした長年の積み重ねが今の強みになっています。

守りの姿勢をベンチャーが打破してくれた

——ベンチャー連携には10年前から取り組んでいると聞きました。その理由は何だったのでしょうか。

山田 将来に対する危機感があったのは確かです。人口が減る中で、どのように工事能力を保つのか。ただ個人的には、そういった危機感に基づくアクションというよりは、「難しい状況だからこそ挑戦していこう」という前向きなスタンスのほうが強かった。創業者と同じく、挑戦するDNAがこの会社にはあると感じています。

——具体的にはどのようなプロセスから着手したのでしょうか。

山田 まずは大学や行政が主催する

オープンイノベーション系のイベントに顔を出すところから始めました。当初の狙いは、自社の業務効率化や負荷軽減につながるものを探すことでした。ただ、ベンチャーの皆さんと接するうちに「プロダクトがあること」への羨ましが次第に出てきたんです。ガス工事は定められた材料や工法によって、定められた仕様で配管を行うものなので、他の工事会社と結果に差があってはいけません。その中で、プロセスや人の能力で差別化を図るわけです。それでも、どうにかして自分たちも何か独自のプロダクトをつくれないうか、あるいは提案型のビジネスができないか。そうした思いを抱くようになりました。

——ベンチャーのあり方に触発されたわけですね。

山田 当社は常にインフラに携わってきた経緯から、定められた仕様の工事をやりきることは得意です。一方で目の前の工事に集中しすぎたり、将来の工事量を心配するあまり、工事の先にいるユーザーの目的や課題が置き去りになりがちです。

これに対して、ベンチャーの皆さんはまず課題意識が先にあり、どうにかしてその課題を解決するんだという強い思いがある。その熱に触れることで、当社の社員も刺激を受けて活性化することができています。

ガス工事の真の価値は「レジリエンス」だった

——そうした中で、2023年からリバネスをパートナーに選んだ理由は何だったのでしょうか。

山田 それまでのベンチャー連携にも得るものはありましたが、結果的に事業として実を結ぶところまではいきませんでした。一方で、リバネスは事業に実装するところまでもっていくことに強みがあり、その実績もあった。それが最大の理由です。

——ありがとうございます。実際にリバネスと動いてみた印象はいかがでしょうか。

山田 常に感じているのは、われわれとベンチャーさんの間にリバネスがしっかり入ってくれる、ということです。双方のイメージがズレていれば、すぐに軌道修正をかけてくれる。「アプローチすべきは別の方法ではないですか」「山田商会ホールディングの本来の強みはこうではないですか」といった具合です。そうやって整理してもらうことで、私たちも自社のアセットの新しい見え方に気づくことができています。

——そうした議論の中で、「山田商会ホールディング＝レジリエンス」というキーワードも浮かび上がってきました。

山田 レジリエンスという言葉は知っていましたし、当社としても大きな災害時には常に復旧・復興支援に駆けつけてきた経験があります。ただ、日常的な業務とレジリエンスを結びつけて考えたことはなかった。ですから、山田商会ホールディングの仕事を抽象化するとレジリエンスになるという考え方には新鮮な納得感がありました。

というのも、実際にその視点で自社を捉え直してみると、様々なことがバーっとつながるんです。例えば当社グループには土木工事に従事する社員もいれば、家庭用の省エネ機器を販売する社員もいます。「レジリエンスを高める仕事をしている」という言葉であれ

ば、誰もがその価値を目の前の仕事からイメージできるわけです。

また、災害復旧についても、ことが起きてから準備をしているは間に合いません。われわれが緊急時に力を発揮できる理由は、平時に携わっているガス工事を通じて技術者を抱え、育成することができているからです。その意味では、山田商会が120年近く続けてきたガス工事は、「まちのレジリエンス」をハード面だけでなくソフト面でも高めることだったんだと表現できます。この考え方を会社全体の理念にどう反映していくかは今後の検討事項ですが、非常に大きな気づきになったことは間違いありません。

東海エリアにおけるベンチャーの窓口になる

——リバネスとの連携では東南アジア進出も一つの柱になっていますが、それ以前から山田商会ホールディングでは取り組みを始められています。

山田 将来の担い手として、東南アジア人材への期待がありました。ただ当社のポリシーとして、採用した社員が数年後に帰国することになり、「退職後のことは知りません」という状態にはしなかった。そこで2020年に初の海外子会社であるYSデザインベトナム有限会社を設立し、長期的に関係性を構築できる環境をつくりました。また、東南アジアは全体で約7億人という巨大市場でもあります。ビジネスチャンスが広がっているのと同時に、われわれが現地の課題解決に協力できる部分も必ずあるはずだ、というイメージを以前から持っていました。

——そのうえで、リバネスとの連携ではどのような収穫があったのでしょうか。

山田 明らかに違ったのは、「現地の知識を日本に持ち帰る」という視点です。日本から東南アジアのマーケットに「持ち込む」のではなく、現地のベンチャーの技術や知識を日本に「持ち帰る」。この発想はなかった。マレーシアのディー

プテックベンチャーをめぐるツアーにも参加しましたし、シンガポールで開催された東南アジア最大級のスタートアップイベントであるSWITCHにはわれわれ自身が日本のベンチャーとして出展しましたが、現地での議論のテーマは常に「日本で一緒に何ができるか」でした。

——日本のベンチャーと東南アジアのベンチャーを比較して、新たな発見はありましたか。

山田 結論から言えば「日本も東南アジアも違いはない」という実感を持てたことが最大の発見でした。国や言語など背景の違いはあるものの、課題解決に挑む姿勢や、そこにかける情熱には何の違いもありません。だからこそ、こちらとしても「どう組むことができるか」「一緒に何を実現できるか」という本質的な議論にずっと入ることができました。

——東南アジアを中心とするグローバルなディープテックベンチャー支援に特化した「Real Tech Global Fund 2」に参画されたのも、同じ視点がベースにあったのでしょうか。

山田 おっしゃる通りです。そのうえで、ファンドに出資した理由は「より多くのベンチャーに会えるから」に尽きます。自分たちで直接コミュニケーションを取るよりも、ファンドを通じて接点を持つほうが探索面で効率が良いのは明らかです。そのプロセスの中で「ことはぜひ一緒に組んでみたい」という相手が現れたら、改めて直接の出資も含めて考えていく、というスタンスです。

——最後に、この1年のリバネスとの連携をふまえた今後の展望をお聞かせください。

山田 現在はリバネスとの連携を通じて、新規事業のパイプラインが次々に生まれている状況です。正直に申し上げて、これは当初の想定を大きく上回る成果ですし、今後の可能性が本当に大きく広がったと感じています。この先、いかにビジネスとして着地させていくのか、ということがわれわれとしても問われています。違う表現でいえば、山田商会ホールディングの何を真のアセットとして捉えて、ベンチャーの皆さんと連携していくのか、ということでもあります。

一義的には、われわれはやはりガス工事会社であり、何か物を据えつけるとか、重機を操縦するとか、あるいは既存の顧客ネットワークがある、といったことが強みになります。しかしその部分だけに留まるのではなく、より本質的な知識を活かして、例えば全く新しいインフラ設備や機器のメンテナンス手法をベンチャーさんと共同で開発するようなことにも挑戦したいと考えています。

この1年で改めて感じているのは、「山田商会ホールディングは名古屋を中心とする東海エリアの会社である」ということです。そのことに大きな誇りがありますし、これが最も力を発揮できるアセットでもあります。ですから、ある意味ではベンチャーの皆さんの代理店といえますか、このエリアでの活躍をサポートできる存在になっていきたいと思っています。グローバルでも、国内でも、ベンチャーが東海エリアで活動する際には必ず山田商会ホールディングに相談を寄せていただける。そんな将来像を描いているところです。

山田 豊久 (やまだ とよひさ)

株式会社山田商会ホールディング 代表取締役社長

2004年東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻修了、株式会社山田商会入社。2007年取締役就任。2010年新設された経営企画室の室長として会計業務や職場環境などの改善に着手。2011年取締役常務執行役員、2014年取締役専務執行役員を歴任し、業務領域や部署間における多能工化を推し進める。2016年取締役副社長執行役員を経て2020年に代表取締役社長執行役員に就任。2016年山田商会ホールディング設立と同時に専務取締役就任、2020年より現職。

山田商会ホールディングスがリバネスと仕掛けてきた主な取り組み



▲岐阜テックプランター2023
表彰式にて



▲鈴木氏が登壇したパネルセッション
の様子



▲シンガポールでのベンチャーとの議
論の様子



▲プロジェクト記者発表の様子

2023年11月 岐阜テックプランター2023 参画

共催である株式会社大垣共立銀行 土屋常務のご紹介により、リバネスの取り組みに地域開発パートナーとして初参画。

2024年2月 マレーシア・ディープテックツアー参加

代表の山田氏が、マレーシアでのツアーに参加。リバネスと年間を通じ、事業開発、ブランディング、人材採用のプロジェクトを行うことを決断。

2024年6月 テックプランター・ディープテックグランプリ2024 参画

ディープテックグランプリ(センサやAI、ロボティクス等の基盤技術)に、パートナーとして参画。鉄筋腐食検知技術を開発する「シビオニクス(群馬大学)」に山田商会賞を授与。

2024年9月 超異分野学会 2024 大阪・関西大会のセッションに登壇

『中堅・中小企業×スタートアップで生み出すドローンサービス』と題したセッションに専務の鈴木氏がパネリストとして登壇。地域インフラにおけるドローンの活用方法について議論。

2024年10月 世界最小級のドローンを開発する Liberaware 社と 業務提携を開始

インフラ工事・メンテナンス市場におけるDXを実現するため、株式会社 Liberaware が開発したドローン「IBIS2」のパイロットチームを山田商会HD社内に組成。

2024年11月 東南アジア最大級のスタートアップイベント 「SWITCH」に出展

シンガポールにて3日間、2万人以上が来場したイベント出展と現地視察を通じ、エネルギー、防災、住環境、インフラ・メンテナンスの4分野で東南アジアの課題と技術を探索。

2024年11月 研究者の新たな活躍の場をつくるイベント 「Add Venture Forum」に参加

若手研究人材と「あなたが考える、人と地球の『レジリエンス』とは?」というテーマで議論し、仲間集めを行う。

2024年11月 岐阜テックプランター2024 参画

地域開発パートナーとして2期目の参画。食品副産物のアップサイクルを目指すともしびマルシェ株式会社に山田商会賞を授与。

2024年12月 リバネス及びテラ・ラボ災害対策オペレーションセンターと連携し、 「リバネス・レジリエンス・プロジェクト」東海支部を立ち上げ

研究資本提携を結んだ株式会社テラ・ラボが名古屋空港内に開設した災害対策オペレーションセンターを拠点に、災害時の迅速な復旧を可能にする研究開発を開始。

2025年1月 リアルテックグローバルファンド2号に参画

さらに多くのベンチャーとの共創のため、東南アジアを中心としたディープテックエコシステム構築を目指すファンドにLP出資。

2025年3月 超異分野学会 東京大会 2025のセッションに登壇

『神社仏閣とレジリエンス』と題したセッションに代表取締役社長の山田氏がパネリストとして登壇。小型ドローンによる寺院の点検実証について議論。

古参社員が語る山田商会の「変化」と「これから」

120年の歴史を改革する覚悟を持ち、美しい仕事を創り出す

この10年ほど、私自身も新たな事業の柱を模索し続けてきました。最初に感じたリバネスの印象は、紹介いただくベンチャーの方々も含めて、とにかく全員が一生懸命だということ。ですから、すぐに信頼することができました。1年間の活動を経て、新規事業のアイデアと既存事業の間に親和性が現れてきたことを強く感じています。目新しく面白いテーマはいくらでもあります、当社の強みは100年以上のインフラ工事で培ってきたノウハウ、そしてこの事業をやり続けてきた「人」です。ここを変えるわけにはいきません。この会社に新卒で入社し、先々代の社長の頃から40年以上育ててもらってきたか

らこそ、山田商会の存在意義を考え続けることが私の使命だと感じています。

当社のガス工事では、現場監督一人一人が責任を持ち、仕事の進め方も基本的には自分で判断しています。その影響で、昔から「一人親方が集まったような会社」の雰囲気がありますし、一人一人に「仕事とはこういうもの」という基準があります。そんな彼らに新規事業を受け入れてもらうためには、「なぜ山田商会がやるのか」に納得してもらうことが重要です。だからこそ、リバネスとの仕事では、まずは私自身が飛び込んで、必ず最後までやり切るようにしています。自分の経験をもとにした言葉でなければ、社員には伝わり



株式会社山田商会ホールディング
専務取締役

鈴木 啓之 氏

ませんから。新規事業でもベンチャー連携でも、仕事の本質は「覚悟」を持つことだと私は信じています。会社を支え続けてくれた社員たちに誇れるような、美しい仕事を創り出していきたいと思っています。

「伝統」と「新しさ」の橋渡し役になり、チャレンジする土壌をつくる

数年前にイノベーションルームの責任者に任命され、大学のイベントなどを通してアカデミアとの接点を徐々に増やしてきました。ただ、リバネスとの取り組みは、出会う研究者・ベンチャーの領域の幅広さも連携のスピード感も全く異なります。何より事業アイデアの引き出しが豊富で、毎回、驚かされています。

一連の活動で特に印象に残っているのは、世界最小級のドローンを開発するLiberawareさんとの連携です。1年前は全く想像もしていませんでしたが、実はドローン操縦免許の講習に通って免許を取得し、実証試験では操縦士も務めました。当初は複雑な操

作に苦戦し、「これは年齢的に無理なのは」と思うこともありましたが、新しい知識に触れることは非常に刺激的で、本当に楽しい経験です。昼休みに操縦の練習をしていると、これまで業務でしか話さなかった若手社員たちが強い興味を示してくれたりもします。

もともと私は工務事務の部門で室長を務めていたのですが、そこでは現場の職人と本社総務の間を取り持つことが重要な役割でした。ですから今後は、伝統を大切にしてきた社員と、新しい理念で生まれ変わろうとする会社の橋渡し役になりたいと考えています。また、実はイノベーションルームの責任者に抜擢されたのは役職定年後のことなん



株式会社山田商会ホールディング
イノベーションルーム 責任者

木村 利幸 氏

です。その意味では、ある程度年齢を重ねていても山田商会では活躍できるんだ、という事例にならなければという気持ちもあります。「チャレンジする土壌」をこの会社につくっていききたいですね。



弁護士法人
内田・鮫島法律事務所
UCHIDA & SAMEJIMA LAW FIRM

弁護士法人 内田・鮫島法律事務所

● 法律事務所

知識
製造業
宣言

知財戦略と技術法務で、
日本の競争力に貢献する。

特 徴

- ▶ 知財戦略と技術法務でビジネスデザインをサポート
- ▶ ディープテック分野のスタートアップ、中堅・中小企業がメイン顧客
- ▶ 創業パートナーの鮫島は『下町ロケット』に登場した神谷弁護士のモデルになった

解決したい課題、実現したい未来

私たちは技術法務を通じて、個々の企業の事業価値を向上させます。企業のビジネスを成功に導き、最終的に日本全体の競争力向上に貢献して、次なる世代のために豊かな日本を作ります。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

「技術法務」とは、弁護士が有する技術・ビジネスへの理解を基盤とし、知財・法務のスキルを活用してソリューションを提供する手法です。従来は、法務・知財・技術・ビジネスの各要素がそれぞれ分断されており、弁護士による法務サービスは法的な点におけるアドバイスにとどまっていました。弊所では一人の弁護士が、法務・知財・技術・ビジネスの各要素を統合的に捉えることにより、多角的な観点からソリューションを提供しています。



コミュニケーター
からひとこと



長 伸明

未解決の課題を解決するためには、異なる知識を組み合わせた新たな知見が必要です。そこには知財や法務の知識も欠かせません。描いた未来を実現するために「技術法務」は強力な武器になります。フランクな相談の中から事業推進の道筋や避けられるリスクが見えてくるはずです。

■ 会社概要

代表者 …… 鮫島 正洋
創業/設立 …… 2004年7月5日
事業内容 …… 技術法務による各種ソリューションの提供
従業員数 …… 37名
所在地 …… 東京都港区虎ノ門2-10-1
虎ノ門ツインビルディング東棟16階

WEB …… <https://www.uslf.jp/>
その他 …… 東京弁護士会所属 /
LawExchange International 加盟事務所 / 従業員数欄の記載は所属弁護士及び弁理士の人数



創業パートナー弁護士
鮫島 正洋



株式会社リバネスキャピタル

●ベンチャー投資で伴走人材を育成

知識
製造業
宣言

社内外の多様な資本を活用する伴走者を育成し
社会実装に寄与する

特徴

- ▶ 世界の課題に取り組むベンチャーの組織と経営の基盤構築を支援
- ▶ 「科学技術」と「事業の成長」を多様な資本でブリッジする伴走人材育成
- ▶ 伴走経験からアントレプレナー人材を育てる新たなベンチャー出資モデル

解決したい課題、実現したい未来

資金や事業開発・経営人材が不足するベンチャー企業と、次世代経営人材やアントレプレナー人材が不足する中堅・中小企業。多様な資本をもつ中堅・中小企業の人材が、ベンチャー企業への伴走経験を経て良質なアントレプレナリシップを育み、同時にベンチャー企業の技術の社会実装をも達成できる、そんな世界を目指します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社では、これまでリバネスグループが行ってきた120社超の創業期ベンチャー投資と、100社超のベンチャー企業の組織基盤の構築支援の実績から、伴走人材に必要な考え方や行動特性の言語化に取り組んできました。現在、①多様な資本を活用した事業会社とベンチャー企業との連携仮説づくりを実践型で学ぶ「キャピタルブリッジコミュニケーション」コースの運営、②ベンチャー伴走経験を通じたアントレプレナー人材・次世代経営人材を育成する特徴的なベンチャー出資の枠組みの構築・運営支援サービス、を展開しています。



人材育成コース修了者

コミュニケーション
からひとこと



岡崎 敬

新しいコトを起こすチームには、「明確な課題意識を解決する情熱を持ったアントレプレナー人材」と「その思いに共感する多様な伴走人材」の両者が不可欠です。ベンチャー企業に深く伴走することで越境・経営経験が積める同社の取り組みは、知識製造に新たな価値を生み出すでしょう。

会社概要

代表者 …… 池上 昌弘
創業/設立 …… 2020年1月6日
資本金 …… 5,000万円
事業内容 …… 投資育成・経営基盤構築支援
従業員数 …… 10名
所在地 …… 東京都新宿区下宮比町1-4
飯田橋御幸ビル5階
WEB …… <https://www.lnest.capital/>



弊社の伴走支援メンバー



株式会社LabBase

● 理系人材、研究技術者の採用支援

知識
製造業
宣言

理系学生と企業をつなぎ、
社会に新しい知や技術を生み出す

特徴

- ▶ 自社にマッチする理系学生に出会える採用サービスを提供
- ▶ 国内理系大学院生の約2人に1人が登録するデータベース「LabBase 就職」を運営
- ▶ 学生の研究内容と企業の事業内容を高度にマッチング

解決したい課題、実現したい未来

研究や開発に励む理系学生の才能が、適切に評価されない、研究を活かした就職ができない現状を変えたい。LabBaseは、学生と企業のマッチングを最適化することで、研究で培った力を発揮できる社会を実現します。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

LabBaseは、理系学生に特化した採用支援プラットフォーム「LabBase 就職」を展開しています。同サービスには全国の理系大学院生約2.3万人が登録。研究内容やスキルがわかる詳細なプロフィールをもとに、学生の専門性や研究内容と企業のニーズを適切にマッチングします。またAI機能を活用し、専門的な知識を補完しながら、効果的かつ効率的な学生との接点を提供しています。



コミュニケーター
からひとこと



大坂 吉伸

LabBaseは「研究の力を、人類の力に。」を掲げ、研究開発を加速する人材採用プラットフォームを構築。理系院生の2人に1人以上が登録する「LabBase 就職」や、研究職技術職特化の中途採用サービス「LabBase 転職」を運営し、インターン～中途採用まで広く活用されています。

■ 会社概要

代表者 …… 加茂 倫明
創業/設立 …… 2016年9月23日
資本金 …… 7億7,990万円
事業内容 …… 理系学生及び企業研究者、技術者の採用サービス「LabBase 就職」「LabBase 転職」の運用
従業員数 …… 129名
所在地 …… 東京都港区西新橋1-1-1
日比谷フォートタワー 10F

WEB …… <https://labbase.co.jp/>
その他 …… ICCカンファレンスKYOTO 2017 優勝 / Tech Crunch Tokyo 2018 受賞 / Mizuho Innovation Award 2020 受賞(2020年1～3月期) / 東洋経済「すごいベンチャー100」に選出 / Forbes 30 Under 30 Asia (代表加茂)



日本全国の大学約4万研究室のデータを網羅した、産学連携プラットフォーム『研究室サーチ for Biz』を運営



株式会社サンコー技研

●精密打ち抜きプレス加工業

知識
製造業
宣言

精密「打ち抜き」技術で、
世界の人とのづくりの新時代を築く

特 徴

- ▶ ロボプレスシステムや型技術を提供するサービス提案型町工場
- ▶ 正確な打ち抜き技術を武器に、シリコンバレーを含めて世界展開にチャレンジするフットワーク
- ▶ 異業種との協業ネットワークによるアプリ開発・DX・AIなど幅広いビジネス提案力

解決したい課題、実現したい未来

「打ち抜き技術×情熱×好奇心」を軸に、新時代に求められる日本製造業の勝ち筋を探索し、新しいモノづくりビジネスの構築に取り組んでいます。志を共にする人々と連携して「ツーリズム・AI・教育など様々な分野」と「町工場」の掛け算で社会課題を解決し、世界に必要とされながら稼ぐ力を持つ町工場の実現を目指します。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

全国交通系ICカード1億枚超の打ち抜き加工で市場クレームゼロを達成しました。この「1億分のゼロ」の量産実績と並行して、年間100件超の試作・開発にも参画し、新しい工法開発等も手掛けています。GAFAM・テスラ等との共同開発、半導体放熱基板の量産、VR用レンズ、1μm画像位置決めロボットプレスシステムのライセンス提供、再生医療用細胞シート培養フィルムなど、最先端領域での打ち抜き技術を開発・提供しています。強みは高品質・高難度の打ち抜き加工技術と、新たな技術開発への積極的な取り組みです。



『打ち抜くコト』のトータルサービス

コミュニケーター
からひとこと



岡崎 敬

昨年の全国知識製造業会議で、株式会社アンブラットと意気投合し、製造業の知識を共有・発信するチャットボットをわずか4ヶ月で公開するなど、とにかくアクティブです。時代の変化に敏感で、新技術活用、海外展開にも自らが積極的に取り組み、日本の製造業の再興にも情熱を持っています。

■会社概要

代表者 田中 敬

創業/設立 1976年10月1日

資本金 2,000万円

事業内容 精密プレス加工事業、アプリ開発（作業日報アプリ）、技術ソリューション販売（ロボットプレスシステム）

従業員数 30名

所在地 大阪府東大阪市玉串町東3-5-38

WEB <https://sankogiken.com/>

その他 平成27年 大阪府ものづくり優良企業賞 大阪産技研理事長賞受賞 / 平成29年 新機械振興協会 会長賞受賞 / 令和2年 近畿経済産業局 関西ものづくり新選2021受賞 / 令和5年 素形材センター 素形材産業技術賞受賞



新時代のものづくりに貢献します



株式会社キャスト

●精密部品の製造販売

知識
製造業
宣言

他の誰かより、もう半歩先を行く技術を。

特 徴

- ▶ ロストワックス・金属粉末射出成形法(MIM)を主軸に、デジタル技術を活用した金型レス铸造にも対応
- ▶ 電車・工作機械・医療機器等あらゆる産業の精密部品の製造に対応
- ▶ あらゆる業種のものづくりに対応し、1個から受注可能

解決したい課題、実現したい未来

医療・福祉の枠を越え、誰もが心身ともに健やかに暮らせる社会の実現を目指し、高齢化やストレスなど“ウェルネスの壁”に向き合い、技術とデザインで「もう半歩先のウェルネス」を形にします。ユーザー・企業・研究機関と共創し、日本発のウェルネススタンダードを世界へ発信。人々の幸福度を高める未来を描きます。

注力したい領域

□エネルギー・環境・資源

◎健康・医療・生活

□食料・農林水産

□海洋・宇宙

□情報通信

□モビリティ

□インフラ・住宅

製品・サービス、強み

ロストワックス精密铸造法・金属粉末射出成形法(MIM)の技術を用いて、電車・工作機械・医療機器等あらゆる産業の精密部品の製造販売を主軸としています。近年ではデジタル造形にも積極的に取り組み、超小ロット1個から金型製作不要で铸造品が作れるデジタルキャスト®方式、AM技術(金属3Dプリント)受託サービスを展開しており、試作品1個から単発小中ロット品やリピート量産品まで対応しております。京都先端科学大学とも世界最高精度の3Dプリンタの協働研究を進めており、幅広いものづくりの駆け込み寺として支援できる体制を構築しています。



金属粉末射出成形法 (MIM)

コミュニケーター
からひとこと



藤田 大悟

ものづくりが本当に好きな人たちが集まる、最高にユニークな会社です。超精密のミニチュア工具や、キン肉マンとコラボした金属製『ロビンマスク』など自社商品も多くあり、多くの人の想いを形にしてくれます。今後特に「人」と関わるものづくりを推進していくため、その仲間を集めていきます。

■会社概要

代表者 …… 戸田 拓夫

創業/設立 …… 1970年2月7日

資本金 …… 7,996万円

事業内容 …… ロストワックス铸造・MIM・3Dプリント・CT検査・自社製品企画製造・農産物生産販売

従業員数 …… 335名

所在地 …… 広島県福山市御幸町中津原1808-1

WEB …… <https://www.castem.co.jp/>

その他 …… ISO9001 / ISO14001 / ISO13485 認証取得 / 医療機器製造業許可取得



広島本社



KOBASHI HOLDINGS 株式会社

● 農業機械／モノづくり支援事業

知識
製造業
宣言

次世代の豊かな地球のため、
モノづくりの力で社会課題を解決する

特徴

- ▶ 100年以上続く岡山県の農業機械メーカー
- ▶ メーカーとしてのモノづくりノウハウをいかしたスタートアップの支援実績多数
- ▶ 教育活動、産学連携、ファンドとの連携など、多様な活動を推進

解決したい課題、実現したい未来

「地球を耕す」という理念のもと、100年以上にわたって農業・モノづくり分野で培ってきた知識や技術を応用し、地球規模の課題解決に取り組んでいます。またスタートアップ企業と新しい価値を共創し、社会的・環境的課題解決につながる技術の実用化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ☐ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

1910年の創業以来、農業機械メーカーとして農業の機械化を推進し、耕うん爪は国内トップシェア。培ってきたノウハウをいかして、試作開発から量産・メンテナンスまで、モノづくりの各プロセスを包括的に支援するサービスを提供し、スタートアップ企業の未来を切り拓くアイデア・コア技術のより早い実用化に取り組んでいます。



地球へのコミットをかたちにしたビジョンオフィスは、互いに理念を共有し、新たな価値を共創していく空間

コミュニケーションからひとこと



塚田 周平

「地球を耕す」という理念を掲げ、スタートアップ等と連携しながら知識製造を行う企業です。モノづくり支援は、既存事業で培われたノウハウと量産設備等のアセットのみならず、事業開発の経験を持つメンバーが、知見を活用して事業構想段階の壁打ちから量産まで伴走します。

■ 会社概要

代表者 …… 小橋 正次郎
創業／設立 …… 1910年／2017年7月1日
資本金 …… 1億円
事業内容 …… 農業用機械・部品の開発・製造・販売、モノづくりの包括的支援など
従業員数 …… 336名

所在地 …… 岡山県岡山市南区中畦684

WEB …… <https://www.kobashiholdings.com/>

その他 …… 昨年、岡山市から新規事業創出支援を担う企業に選出され、新規事業を創出する過程で生じる課題に対し、計画策定から実行まで支援を行っています。また高耐久の農業機械のグローバル展開が進み、今後さらに加速させ、全人類に食糧が届く社会を目指します。



代表取締役社長 小橋 正次郎



株式会社 Soillook

● 成分可視化技術の研究開発と提供

知識
製造業
宣言

成分分析の知識とエンジニアの技術で、
世界の安心・安全を守る

特 徴

- ▶ GASGRA（ガス可視化カメラとWebシステム）のレンタル開始。最初の2週間は無料！
- ▶ 防爆エリアに導入できるように防爆カメラを大手企業と共同研究中！
- ▶ 分光分析技術で、土壌の分析、塩害劣化検査も可能。研究開発進行中！

解決したい課題、実現したい未来

インフラ設備の老朽化が進む中、検査や修理を担う作業員の高齢化と減少が課題です。当社は可視化技術を活用し、インフラ検査を効率化して老朽化事故を防ぎます。さらに、土壌検査やコンクリート塩害劣化検査も可視化し、少ない人員でも迅速かつ正確・効率的に対応可能な仕組みを提供し、安全で持続可能な社会に貢献します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

☑ 健康・医療・生活

☑ 食料・農林水産

□ 海洋・宇宙

□ 情報通信

□ モビリティ

□ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社製品の強みは、従来の検知器では難しかったガス漏えいをカメラで可視化することで、安全性と効率性を大幅に向上させる点です。さらに、カメラで検知したデータをクラウドで監視する仕組みにより、作業員が現場で張り付いて監視する必要がなくなり、遠隔での効率的な管理が可能になります。これにより、人の五感に頼る時代を終わらせ、機械による高度な監視体制を実現します。今後は、プラントや船舶市場にとどまらず、土壌分野、医療分野、さらには宇宙分野への展開を目指し、幅広い分野で社会課題の解決に貢献していきます。



GASGRAのカメラは望遠・広角タイプの2種類を提供。現場環境に合わせてガス漏えいを監視できる

コミュニケーター
からひとこと



福田 裕士

中赤外線イメージングの独自技術を持ち、「人類の新たな目」による安心安全を実現するスタートアップです。第一弾として工場内のガス漏えいをカメラで検知するシステムを実装しており、今後は農業、建築、宇宙分野の目に見えない危険や可能性を可視化し、社会課題解決を加速します。

■ 会社概要

代表者 西藤 翼

創業/設立 2020年3月11日

資本金 3,000万円

事業内容 赤外線カメラとクラウドで成分を可視化し、プラント保安の安全性と効率性を革新する世界最先端のIoT事業

従業員数 7名

所在地 香川県高松市林町2217-44
ネクスト香川205号室

WEB <https://soillook.com/>

その他 J-TECH STARTUP 認定企業 /
J-Startup WEST 認定企業



代表取締役社長 西藤 翼



株式会社情報システム エンジニアリング

● 行動変容を促す情報提供技術

知識
製造業
宣言

人が不可欠な現場の複雑な課題を
レジリエンス発想で解決します。

特徴

- ▶ 作業のズレを即時検知: AI搭載カメラが現場のミスや異常をその場で作業者に伝えます
- ▶ 安全性と品質向上: 作業ルールの逸脱や姿勢不良、工具の置き忘れを可視化します
- ▶ 人的ミスを防止して現場の継続的な改善を実現: 収集データを分析し、労働環境や作業工程の最適化を支援します

解決したい課題、実現したい未来

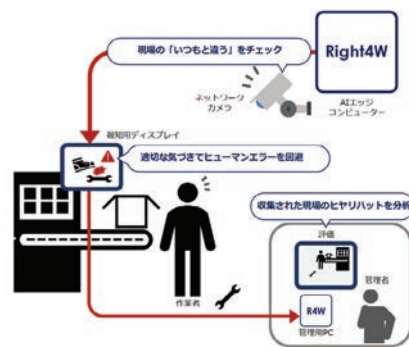
現場では「昨日できたことは今日も同じようにできる」ことが求められる一方、機械化・自動化が難しい環境では人の判断や対応力が不可欠です。レジリエンス工学の発想で現場の安定・正常・成功体験を維持し、持続可能にします。適切な情報伝達で人の行動を最適化し、複雑な課題を解決することで、「今まで通り」を支えます。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

弊社が提供するRight4Wは、ネットワークカメラとAIによる映像解析を活用し、現場作業におけるルールからの逸脱を検出・通知するシステムです。ルールの不履行、姿勢不良などをリアルタイムで判定し、作業員へ適切なアラートを発信します。弊社が大手企業との協業で培ってきた技術と、特許を活用したエンジニアリングノウハウを基にカスタマイズも可能です。Right4Wをはじめとする「Right4シリーズ」、コア技術の「worktransform」を組み合わせることで、より高度な業務支援と現場のDXを推進します。



Right4W（ライトフォーワーク）の仕組み

コミュニケーター
からひとこと



岡崎 敬

AI エッジコンピューターは、機器のインターフェイスや作業者の操作環境など現場の条件に縛られずに、正常逸脱をカメラで捉えてその場で作業員に改善を促します。大規模なシステム導入を必要としないユニークな業務支援と従来にない発想で、課題解決に向き合うアクティブな会社です。

■ 会社概要

代表者 黒田 聡
創業/設立 1979年10月1日
資本金 1億円
事業内容 受託開発事業、提案型開発技術サービス事業、ウェルネス関連事業、研究開発情報サービス事業 他
従業員数 86名

所在地 東京都新宿区高田馬場3-35-2
WEB <https://ise.co.jp/>
その他 ISO9001:2015 認証取得 / ISO17100:2015 認証取得 / 全庁統一資格取得 / 一般労働者派遣事業 / 【保有知財】国内特許24件・商標24件 / 米国特許6件・商標6件 / ドイツ商標6件 / スイス商標7件 / 中国特許7件・商標11件



代表取締役社長 黒田 聡



株式会社浜野製作所

● 開発設計・製造 + α サービス

知識
製造業
宣言

人と人の繋がりの中から
新しい価値を生み出す

特 徴

- ▶ 仕様が定まらない困りごとでも、カタチにしてきた実績
- ▶ 「解決したい課題」に共感したとき最大の力を発揮します
- ▶ 大手メーカーをはじめ、様々な人材が出向に来ています

解決したい課題、実現したい未来

日本の製造業を支える大企業を頂点とするサプライチェーンにおいて町工場の減少により0から1を生む開発現場が失われつつある今、産業構造の変革は急務です。私たちは、企画開発を軸としたエンジニアリング力と試行錯誤を可能にするものづくり現場から、数多くの新たな挑戦を促進し、作り手が活躍する場を社会に実装します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

製品／事業の企画・開発設計から試作・量産・事業化まで一貫通貫で手掛ける高度なエンジニアリング力によって、産業用機械・装置、ロボットやモビリティ等、300件超のハードウェアスタートアップや大手企業の新規事業を支援しています。そうした事業で培った多様な人材ネットワークやものづくりノウハウを活用し、インキュベーション施設「Garage Sumida」や開発・実証拠点「東墨田ラボ」等の企画運営を行い、未来の産業の担い手となる人・製品・サービスを創造します。



初期の試作を高速で行い、量産時の組み立てや新製品展開の開発も共創してカタチにしています

コミュニケーター
からひとこと



長谷川 和宏

日本を代表する下町の町工場。スタートアップから中小、大企業までものづくりに困ったあらゆる企業の駆け込み寺的存在です。人情に厚い社長のもとに高専生を始めとした若い人材も集まり、最近では JAXA のロボット開発も手掛けています。

■ 会社概要

代表者 浜野 慶一

創業/設立 1968年6月 / 1978年4月

資本金 2,000万円

事業内容 ものづくり事業(開発設計、金型・プレス、精密板金、切削)及びサービス事業(共創施設の企画・運営等)

従業員数 53名

所在地 東京都墨田区八広4-39-7

WEB <https://hamano-products.co.jp/>

その他 2014年 江戸っ子1号 海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣表彰)受賞 / 2018年 経済産業省 第7回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞 受賞 / 経済産業省 地域未来牽引企業、はばたく中小企業300選 選出 / 2018年 平成天皇陛下 行幸



共創から価値を生む Garage Sumida



サンケイエンジニアリング株式会社

● 熱を操るエンジニアリング会社

知識
製造業
宣言

研究開発超加速 —ものづくりの集中治療室—

特徴

- ▶ 構想・設計・試作・製造の全プロセスを行うファブレスのエンジニアリング企業
- ▶ 「熱」の扱いに強く、食品業界、土木建築業界の機械装置に実績あり
- ▶ 研究者やエンジニアの「最後の頼みの綱」を担うものづくりのプロ

解決したい課題、実現したい未来

新しい製品を生み出す時は、前例やデータがないところから始まります。そして、作りたい人は、製品自体は想像できていたとしても、製造プロセスやマーケティング、メンテナンスのプロではありません。私たちは世にものを出す時に必要な全てのプロセスを考え、メリットを最大化する方法を提案し、共に実現していきます。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

構想・設計・試作・製造の全てのプロセスを行っているファブレスのエンジニアリング企業です。大田区に本社を構えており、区内の様々なものづくりのプロフェッショナルと連携しながら製品を形にしていきます。特に熱を扱うことに長けており、これまで様々な食品業界、土木建築業界等の機械装置を手がけ、世の中のものづくりに貢献してきました。「できるかどうかわからない」ものづくりが好きな私たちは、研究者やエンジニアの「最後の頼みの綱」として、まだ世にないものを形にしていく集中治療室的な役割を担います。



コミュニケーター
からひとこと



藤田 大悟

「どうしても作りたいけど、誰に相談すればよいかわからない」。そんな時に相談できる開発のプロです。表舞台には現れない忍者的な存在ですが、世の中の多くの商品を生み出す装置を発明しています。構想や研究開発から担える貴重な存在です。

■ 会社概要

代表者 …… 土場 義浩
創業/設立 …… 2002年10月15日
資本金 …… 900万円

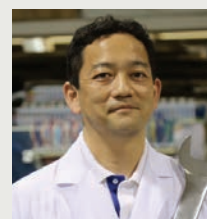
事業内容 …… 加熱プロセス製造技術の開発及び応用全般。既存設備の省エネルギー化、高機能化のコンサルティングなど

従業員数 …… 4名

所在地 …… 東京都大田区本羽田2-7-1
大田区立本羽田二丁目工場アパート
102・202号

WEB …… <https://www.sankei-eng.com/>

その他 …… 各業界専属エンジニアおよび30社以上のパートナー企業と協業



代表取締役 土場 義浩

株式会社木幡計器製作所



● 計測・制御機器開発、医療機器開発、IoT 関連機器開発

知識
製造業
宣言

製造DX推進提案で、製造業における
人材不足の社会解決を目指す！

特 徴

- ▶ 創業から100余年の老舗圧力計メーカー
- ▶ 製造業の人材不足に対して、製造業DXによる省力化で貢献
- ▶ 独自技術の開発に積極的に取り組み、医療機器やIoT関連機器も開発

解決したい課題、実現したい未来

製造業分野においては、企業規模の大小に関わらず、高齢化と少子化を背景に人材不足や、人材育成の課題を抱える企業が多く、社会問題化していると言えます。そうしたことから、国もDX化推進等において、省力化推進を提唱しており、弊社は計器のIoT/DXの提案を積極的に進めています。

注力したい領域

◎エネルギー・環境・資源

- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

弊社のレトロフィットDX製品「Saltaシリーズ」は、製造現場の現場指示計として多用されている圧力計や温度計などに対し、ガラス交換による後付けでデジタル化が行えます。これにより、指示計を取り替えることなく、無線通信機器として活用できます。設備保全管理業務での巡回目視点検業務を省力化でき、遠隔監視ができるため安全衛生管理の観点からも有用です。クラウドサーバとの連携以外にも、社内の基幹システムとも接続でき、拡張性に優れた製品です。



後付けIoTセンサユニット「Salta®（サルタ）」

コミュニケーション からひとこと



藤田 大悟

ガスメーターなどのアナログ測定器のDX化を実現します。ぜひ現場の課題を基に話をしてみてください。また、上記以外にも医療機器開発や規制対応、知財に関する事象など豊富な経験・知見も強みです。

■会社概要

代表者 木幡 蔵
創業/設立 1909年1月10日 / 1951年2月12日
資本金 2,975万円
事業内容 計測・制御機器の開発と製造、医療機器の開発と製造、IoT関連機器の開発と製造
従業員数 20名
所在地 大阪府大阪市大正区南恩加島5-8-6
WEB <https://kobata.co.jp/>

その他 地域未来牽引企業認定 / はばたく中小企業・小規模事業者300社認定 / 第35回中小企業優秀新技術・新製品賞 優秀賞受賞 / 関西DXアワード2023 企業連携賞受賞 / 日本能率協会コンサルティング「IoT 7つ道具」認定制度 / 関西ものづくり新撰2025 特別賞受賞
医療機器製造業登録 / 第2種医療機器製造販売業許可 / 高度管理医療機器等販売業・貸与業許可



代表取締役 木幡 蔵



株式会社アオキシントック

● 金属加工製造業

知識
製造業
宣言

DX化でものづくりの最先端に!!

特徴

- ▶ 高精度の金属部品加工、DX化最先端
- ▶ 多品種少量生産も可能
- ▶ 構想から設計、製作、設置までトータル対応

解決したい課題、実現したい未来

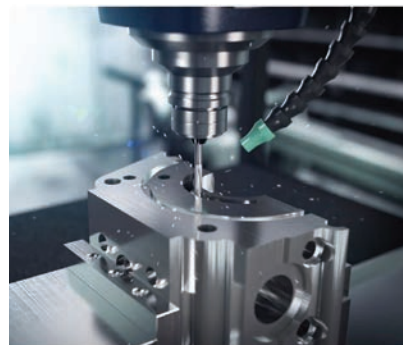
「時間の価値をおカネに変える」ためDX化を追求して「ものづくりでの世界一」に挑んでいます。社名にある【SYM=共生 (Symbiosis)】に、「協力企業と共にものづくりの生産性を向上させていく」意思を込め、その仕組みづくりを日々追求しています。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

「お客様とのコミュニケーション」を活性化し、協力会社との関係性を強化することで「技術力とスピード」を確保しています。単品部品加工では最先端の機器やプログラムをいち早く導入して、精密で迅速な作業を進めており、自動車産業等の様々な業種における高精度の金属部品加工ができます。また、生産ラインで活躍する自動化生産設備・制御機器装置や、検査・加工・溶接・組立などで使用される治具に対するサイクルタイム短縮、省スペース化等の要望にも対応可能。構想から設計・製作・設置まで一連で対応しています。



コミュニケーション
からひとこと



長谷川 和宏

コミュニケーションとスピード感を武器に、単品部品加工から機械・設備の導入まで幅広く対応できるプロフェッショナルです。大学・ベンチャー・異業種企業等とも連携し、養豚やヘルスケアなどの分野でも、ものづくりの在り方を追求しています。

会社概要

代表者 青木 圭太
創業/設立 1995年12月20日
資本金 9,800万円

事業内容 マシニング、NC旋盤、ワイヤカット等の
単品部品加工の他、自動化生産設
備・制御機器装置、検査、溶接、組立等
従業員数 79名

所在地 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘 1-15-10
WEB <https://aokisym.tech/>
その他 ISO9001、健康経営優良法人2024認定



代表取締役 CEO 青木 圭太

SEIKO SEIMITSU

成光精密株式会社

● アイデアをすぐ、カタチに

知識
製造業
宣言

精密部品加工の技術・経験を活かし、
アイデア具現化ファクトリーへ

特 徴

- ▶ 「できないと言わない対応力」で、手で持てるものなら何でも作るチャレンジ
- ▶ 多品種小ロット、超短納期の金属精密部品加工
- ▶ 難削材(純モリブデンなど)の切削加工も対応可能

解決したい課題、実現したい未来

「アイデアをすぐ、カタチに」「世界のものづくりの課題を解決する」をキーワードに、あらゆる分野で活躍される研究者・開発者・企業の抱えるものづくりの課題を、当社の加工技術やネットワークによってスピード感をもって解決します。ベトナム国内の提携工場も開拓しており、東南アジアでのものづくりにも挑戦します。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

切削加工技術をもとに、自動車・半導体・医療機器など産業用機械の分野において、精密部品の試作・製作に携わってきました。対応可能な金属はアルミ・ステンレス・鉄・銅・真鍮・チタン・モリブデン・タングステン・鋳物など多種多様で、三次元測定による保証も可能です。設備面では、AI-CAM活用によりプログラミング製作時間や納期の短縮が可能な環境を構築。提携先には溶接・焼入れ・研磨・表面処理が可能な業者があるため、全ての工程を管理して一括納品ができます。「できないと言わない対応力」をモットーにチャレンジし続ける会社です！



コミュニケーター
からひとこと



吉田 一寛

自動車業界で培った高い技術力に加え、エンジニアリングにおいて大切な「なんとかする」というマインドを持ったチーム。他社で断られた案件をぜひ相談してみてください。ベトナム人技術者や現地協力工場との連携を深めており、現地のものづくりに一緒に挑戦する仲間も探しています。

■ 会社概要

代表者 …… 高満 洋徳
創業/設立 …… 2001年9月1日 / 2007年7月2日
資本金 …… 1,000万円
事業内容 …… 産業用機械等の精密部品の設計
及び製作
従業員数 …… 30名
所在地 …… 大阪府大阪市港区波除1-4-35
WEB …… <https://www.seikouseimitsu.com>

その他 …… 株式会社リバネス Super
Factory Group / 地域未
来牽引企業 / 健康経営優
良法人



5軸加工機(多面体・複雑形状・精度の厳しい製品、ワンチャックにて加工)



マイスターズグリット株式会社

● 塗装を中心とした製造業

知識
製造業
宣言

塗装で世界を変えるをモットーに
様々な社会課題を解決する

特 徴

- ▶ 化粧品から建造物まで幅広い塗装施工
- ▶ 高意匠、高機能性塗料の開発
- ▶ 職人の技法を再現可能な自動塗装機の開発と販売

解決したい課題、実現したい未来

業界の廃液や排気の問題を解決するために、塗装における環境負荷の改善と新しい作業環境の構築を目指します。塗装技術を応用し、様々な業界に付加価値をつけた製品・サービスを生み出しサステナブルな社会を実現していきます。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

消費エネルギーを少なくしたオリジナル塗装機を開発し、環境負荷をかけない塗装ラインを構築します。他にも、廃液や排気を回収処理する装置や環境に良い塗料や機能性のある塗料、長時間持続する無機抗菌剤を開発しています。弊社の強みは、様々な素材に対しての塗布技術や塗装における調色、加飾技術を持っていることです。



環境対策型コンパクト塗装機 省エネルギーで小ロット多品種生産を実現

コミュニケーション
からひとこと



高木 史郎

塗装にまつわるほぼ全てのことを実現可能にする技術集団です。職人の施工技術を数値化し、半自動塗装機で出力が可能。それにより品質の安定化、遠隔で再現することもできます。世界を視野に入れつつ、塗装を軸とした様々な領域で研究開発を進めています。

■ 会社概要

代表者 …… 笹井 浩太郎

創業/設立 …… 2019年1月23日

資本金 …… 1,700万円

事業内容 …… 塗装技術を活かし塗料や塗装装置の開発事業、及び塗装のコンサルティング事業を展開

従業員数 …… 4名

所在地 …… 東京都墨田区横川1-16-3

WEB …… <https://meisters-g.tokyo.jp/>



スプレーガンを使って巧みに塗装する職人



株式会社BIOTA

●微生物多様性による暮らしづくり

知識
製造業
宣言

ヒトと微生物が健康で
持続可能に暮らせるまちを創る

特徴

- ▶ 住環境における「微生物多様性」の評価
- ▶ 「微生物多様性」を高める都市デザイン
- ▶ 解決だけではなく良質な問いを生み出す

解決したい課題、実現したい未来

都市には多くの微生物が生息しており、ひとびとの生活に大きな影響を与えています。また、私たちの身体には38兆個もの微生物が生息しており、彼らは多くの利益をもたらしてくれる欠かせない存在です。BIOTAはヒトだけでなく、さまざまな生き物が健康で持続可能に暮らせる社会を実現します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ◎ 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- 情報通信
- モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

住環境の微生物多様性評価サービス「BIOTA Pack」を提供。環境微生物に関する研究開発を行い、直近2年間で13報の論文を公開しました。微生物多様性を高めるランドスケープデザインブランド「Re-Wilding」では、施工した空間の生物多様性を大きく向上（種数は5倍、微生物数は100倍以上）。菌系素材を用いてリジェネラティブな土壤改良につながる素材開発も行っており、万博パビリオンの内装材として用いられています。微生物の重要性を拡大するため、アート制作やキュレーションも積極的に実施。日本科学未来館やミラノサローネにて監修展示を行いました。



生態系を拡張するランドスケープデザイン
「Re-Wilding HUB」（写真手前の植生）

コミュニケーター
からひとこと



中嶋 香織

微生物は私たちの隣人です。普段は気づかないだけで、日々の暮らしの様々なシーンで接点を見出せるテーマです。他にも生物多様性、ネイチャーポジティブ、リジェネラティブなどのキーワードで新しい取り組みを検討したい企業の皆さまは、ぜひブースにお立ち寄りください！

会社概要

代表者 …… 伊藤 光平

創業/設立 …… 2020年11月1日

資本金 …… 550万円

事業内容 …… バイオインフォマティクス手法を用いた環境マイクロバイオームのゲノム解析による研究開発や、建築設計、ランドスケープデザイン、都市計画のコンサルティング

従業員数 …… 2名

所在地 …… 東京都文京区湯島1-5-45

WEB …… <https://biota.city/>

その他 …… ヒトと微生物がどう共に在ることができるか、時間をかけて考えていきたいと思っています。優しい会社になります。



企画監修した日本科学未来館の展示にて

VUILD

VUILD 株式会社

● 建設業

知識
製造業
宣言

誰もが作り手となる社会を実現して、
地域と地球の再生に貢献します

特 徴

- ▶ デジタルファブリケーションの専門家として様々な建築物の設計施工に従事
- ▶ 事業の中で培ったシステムを基に制作プラットフォームを展開
- ▶ 建設業界における職人不足問題と環境問題を木材×テクノロジーで解決

解決したい課題、実現したい未来

私たちは、建設業界における職人不足問題と環境問題を、デジタルファブリケーション技術を活用することで解決します。デジタルデザインによる構造の最適化によってカーボン量を削減し、デジタル製造プロセスで非熟練工による建設を可能にします。さらに、建材のモジュール化によって現場工数と炭素排出量を削減していきます。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- 情報通信
- モビリティ
- ◎ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

デジタルファブリケーション技術を活用し、すべての人がつくり手になれる社会を実現します。全国約250箇所の森に木工用3次元切削機「ShopBot」を導入し、それらの製造基盤を活用した制作施工プラットフォーム「EMARF」を運営しています。大手企業との資本提携・事業提携も積極的に推し進めており、ホームセンター最大手のカインズさんとオーダー家具プラットフォームの「CAINZ DIY MARKET」を開設、オフィス領域ではカスタマイズ可能なオフィス家具のプロジェクトをコクヨさんとローンチしました。



全国に導入を進める木工用3次元切削機「ShopBot」

コミュニケーター
からひとこと



内田 早紀

テクノロジーを基盤とした建築が普及すれば、専門的な技術を持たない人々も建築プロセスに参加できるようになります。VUILDはその結果として、持続可能で幸福な社会が築けると信じています。彼らの周りにはこの構想を応援する仲間が数多くいます。ぜひここから全国に輪を広げていきましょう。

■ 会社概要

代表者 秋吉 浩気
創業/設立 2017年11月21日
資本金 1億円
事業内容 建築設計・施行、木製品開発・製造及び加工、CNCルーター販売、デジタル人材育成、ITサービス開発
従業員数 27名
所在地 神奈川県川崎市川崎区日進町3-4
unico1F-A

WEB <https://vuild.co.jp/>
その他 2019年 U-35 Gold Medal 賞 / 2020年 グッドデザイン金賞 / 2022・2024年 Archi-Neering Design AWARD 最優秀賞 / 2024年 みんなの建築大賞大賞 / 2025年 iF Design Award Gold Award



年に一度の感謝祭「VUILD WOODSTOCK」にて



株式会社 ジャパンモスファクトリー

● 苔による地球環境の回復・人類社会の発展

知識
製造業
宣言

異分野の知識と「苔」を組み合わせ、
地球環境を守ります！

特徴

- ▶ 世界で初めて苔の大量培養に成功、1年を通して屋内培養が可能
- ▶ 水からのレアメタル回収や、重金属除去に特化したオリジナル株を所有
- ▶ 幅広い苔の知識で屋内・屋外緑化の取り組みも実施

解決したい課題、実現したい未来

世界ではレアメタル等の地下資源を得るための鉱山開発により、有害金属を含む坑廃水による水質汚染が問題となっています。苔にはレアメタルや重金属を吸着する能力があり、この力を活かすことで有害金属の流出抑制や、レアメタル回収を実現して地球を癒す力があります。苔の力で、人も自然もより豊かになる世界を実現します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

✓ 健康・医療・生活

✓ 食料・農林水産

□ 海洋・宇宙

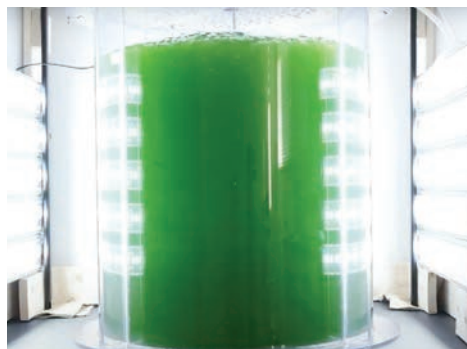
□ 情報通信

□ モビリティ

✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

ジャパンモスファクトリーは、創業者である井藤賀が理化学研究所にて研究してきたコケに関する知見や、コケ原系体の大量培養技術、原系体を活用した金属回収技術を社会実装するための研究・開発を進めてきました。苔原系体を原料にした金属吸着材の研究開発や、苔庭のコンサルティング事業、苔を中心とした屋内緑化事業に強みを持ち、学術から産業界まで、幅広い苔の知識を活かして社会課題の解決に挑戦しています。



苔の「原系体」の大量培養の様子

コミュニケーター
からひとこと



宮内 陽介

幅広い苔の知識を持ち、世界初の苔の大量培養に成功したベンチャー企業です。「苔で地球環境を守る」をミッションに掲げ、苔が持つ機能を活用したレアメタルや重金属の回収、環境緑化に取り組んでいます。

■ 会社概要

代表者 …… 戸上 純

創業/設立 …… 2019年4月1日

資本金 …… 1,600万円

事業内容 …… 苔を中心とした植物素材の製造・加工/環境改善素材として、苔の原系体を製造・加工/学術から産業界まで、幅広い苔の知識を活かした社会課題解決

所在地 …… 東京都新宿区下宮比町 1-4

WEB …… <https://jmf.co.jp/>

その他 …… アグリテックグランプリ2019 最優秀賞/特許第5388124号「Pb蓄積能を有するコケ植物の原系体を用いたPb浄化方法及びその装置」/特許第5429740号「コケ植物の原系体を用いた金属の回収方法」



大量培養した原系体から芽吹いた苔

TERAL

テラル株式会社

● ポンプ・送風機製造販売

知識
製造業
宣言

水と空気のスペシャリストとして
様々な社会課題を解決する

特 徴

- ▶ ポンプや送風機など、水や空気の流れを操る多彩な製品を開発
- ▶ 流体技術・自社製品を利用し、客先の問題を解決するソリューション事業も展開
- ▶ 機器やシステム納入後のメンテナンス・点検等のアフターサービスまで充実

解決したい課題、実現したい未来

私たちは「水と空気未来を創る」の理念のもと、ポンプ・送風機・給水装置を主に流体機器の高効率化・小型化・ユニット化・多機能化など新たな価値創造に挑戦し続けてきました。誰一人取り残さず、安心安全快適な水と空気が行き届く社会の実現のため、従来の建築・産業市場にとらわれず、新たな付加価値発見を目指します。

注力したい領域

◎エネルギー・環境・資源

- ✓健康・医療・生活
- ✓食料・農林水産
- ✓海洋・宇宙
- ✓情報通信
- モビリティ
- ✓インフラ・住宅

製品・サービス、強み

1918年の創業以来100年以上にわたり、ポンプや送風機など、水と空気の流れを操る製品を開発しています。中でも、高効率ポンプと制御装置を搭載した給水装置が主力製品です。施工性とメンテナンス性をアップさせた給水装置は業界内でもシェアが高く、水という当たり前のライフラインを支えています。その他にも、ディスポーザやろ過装置など多彩な製品をラインナップしています。更に、工場や病院等で働く作業員の健康の安全や作業環境を守るため、製販一体のソリューションサービスを展開しています。



施工、搬入が簡単で、作業時間、断水時間が短い給水装置

コミュニケーター
からひとこと



中島 翔太

「水と空気と環境」をテーマに知識製造を行う広島県企業です。未来を担う若手社員主導で多くのスタートアップ等との連携議論を進めています。ポンプや送風機等の既存の枠に囚われずに、次の100年を支える事業の種を育てる仕組みづくりを進めていることが最大の特徴です。

■会社概要

代表者 菅田 博文
創業/設立 1918年8月 / 1950年4月
資本金 7,800万円
事業内容 ポンプ、送風機、給水装置、ろ過装置、
生ゴミ処理システム、全熱交換器、防災
機器、環境関連機器、その他関連機器
の製造・販売、環境関連設備工事
従業員数 969名
所在地 広島県福山市森脇230

WEB <https://www.teral.net/>

その他 ISO9001・ISO14001の認証、健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)に認定/くるみん認定(2024年) / 第23回日本水大賞 経済産業大臣賞受賞 / 第12回エコプロダクツ対象_審査委員長特別賞(奨励賞)受賞



創業100周年に合わせ本社事務所をリニューアル、中四国初のNearly ZEBに認定されました

神田印刷工業株式会社



● 印刷技術で事業を応援

知識
製造業
宣言

実績豊富な印刷会社だからできる
トータルソリューションの推進

特 徴

- ▶ 印刷関連の企画立案から生産までをワンストップで対応できる組織体制
- ▶ デジタル技術やAIの活用により、販促効果の最適化とクリエイティブ性を向上
- ▶ 環境に最大限配慮した印刷資材、生産工程を推進

解決したい課題、実現したい未来

地域社会との共生を重視し、教育機関や企業との連携を通じて、地域の活性化や次世代を担う人材育成に貢献します。また、AI技術を活用することで印刷品質の安定化や人的ミスの削減を図り、廃棄物削減を通じたコスト低減を実現し、持続可能で効率的な社会づくりに貢献しながら多様なニーズに応える未来を創造します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

お客様の課題を解決するための企画立案から媒体選定、クリエイティブ（動画、WEB、グラフィック）、納品までを全てワンストップで実現できる体制を構築しており、スムーズなプロジェクト進行が可能です。また、製品やサービスの「納品後」を重視し、次につながる改善を常にご提案し続けます。印刷については小ロットから大ロットまで幅広く対応可能で、一般的な印刷物はもちろん、DMハガキの宛名印字に代表される可変印刷など、お客様の目的に沿った印刷技術、生産のご提案を行い、高品質の商品をご提供いたします。



検査装置搭載菊全両面4色
UV オフセット印刷機

コミュニケーション
からひとこと



松原 尚子

印刷技術はもちろんのこと、自社で蓄積してきたアセットを活用して異分野との事業連携にも積極的に挑戦しようとしています。多様な方々とのコミュニケーションを通じて、次の事業をつくる新しい仲間を探すために参加しました。飛び地のアイデアも大歓迎です。

■ 会社概要

代表者 田中 賢二
創業/設立 1966年10月1日 /
1968年3月14日
資本金 4,300万円
事業内容 印刷技術を活用した
ソリューション提案
従業員数 137名

所在地 愛知県名古屋市中千種区松軒 1-1-5
WEB <https://www.kanda-p.co.jp>
その他 ・DMマーケティングエキスパート 認定 2名
・MUDアドバイザー 2名
・プロモーション・マーケター 認定 1名
・中小企業版 SBT 認定企業
・プライバシーマーク取得企業



代表取締役 田中 賢二



有限会社ヴァンテック

● 廃水処理ソリューションの提供

知識
製造業
宣言

廃水処理で育んだ技術を活かし、
持続可能な社会の実現を目指す

特 徴

- ▶ 廃水処理において、オンサイトで効果的に減容する可搬式遠心分離装置を開発
- ▶ 持続的なサービスを構築するため回収汚泥活用技術を開発中
- ▶ ホーチミン市に現地法人ヴァンテック ベトナムを設立し活動

解決したい課題、実現したい未来

廃水処理における課題のひとつに固体と液体の分離があり、固体の効果的な回収は、資源再利用の効率を高めます。例えば、土木工事で発生する土砂と水を現場で分離すれば、運搬コストの削減や環境負荷の低減が可能です。ヴァンテックは可搬式遠心分離装置によるオンサイトでの減容濃縮で解決を目指します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

70年以上環境事業を展開する「栗東総合産業株式会社（親企業）」で培われた環境技術・ノウハウ・経験を活かし、新製品や新サービスを開発しています。これまで磨いてきた技術のひとつである可搬式遠心分離装置は、業務用厨房のグリストラップ清掃に導入された他、ベトナム・アンザン省（世界有数の食料生産拠点、メコンデルタに位置）の水産養殖場の汚泥処理でも活用中。現地では大学研究者・企業・行政と連携して汚泥の再資源化を図り、サーキュラーエコノミーシステムの構築を目指しており、その連携で培った関係性も強みです。



可搬式遠心分離装置

コミュニケーター
からひとこと



岡崎 敬

オンサイトの固液分離など、環境事業関連技術開発に意欲的であり、国内外で積極的に実証試験を実施中。連携先と良好な関係性を構築しており、ベトナム・メコンデルタ地域では現地の未解決課題にも目を向け、技術力を持つ日本企業との架け橋となっています。

■ 会社概要

代表者 …… 井之口 哲也

創業/設立 …… 1994年2月4日

資本金 …… 400万円

事業内容 …… 廃棄物処理、廃水処理サービス

従業員数 …… 10名

所在地 …… 滋賀県栗東市十里244

WEB …… <https://vantech.biz/>

その他 …… 2017年滋賀テックグランプリ リバネス賞受賞 / にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ2022-2023 工芸・雑貨部門準グランプリ / にっぽんの宝物世界大会 2023 Best Magical Award



メコンデルタの水産養殖場にて

OKI

沖電気工業株式会社

●日本最初の通信機器メーカー

知識
製造業
宣言

モノづくり・コトづくりを通じて社会課題を
解決し「社会の大丈夫をつくっていく。」

特 徴

- ▶ エッジプラットフォームの実現に向けたパートナーシップを推進
- ▶ パートナー成長機会と社会課題の解決の両輪で共に成長を加速
- ▶ ベンチャークライアントモデルによる事業への早期取込

解決したい課題、実現したい未来

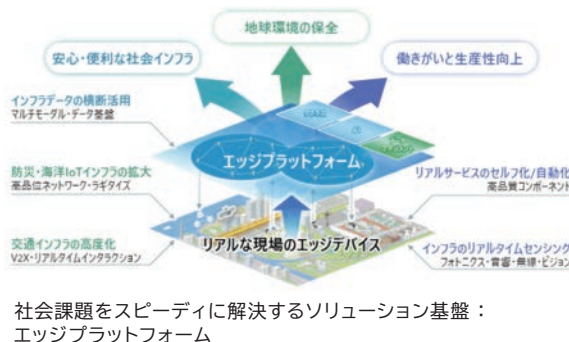
OKIは、日本最初の通信機器メーカー。これまでも社会インフラを支える技術を世に送り出してきました。これまで培ったエッジ技術等を活用し、成長が見込まれる新しい領域に挑戦、道路・鉄道などの「インフラ監視」「流域治水」、交通データを活用した「高度遠隔運用」「物流の効率化」などのソリューション強化を図ります。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

2023年11月に発表した「技術戦略」において、社会課題をスピーディに解決するソリューション基盤の技術コンセプトとして「エッジプラットフォーム」（データ処理を端末の近くで行うコンピューターシステム）を提唱。これまでの安心・便利な社会インフラ開発で培った止まらない・止めないを実現する「タフネス」をベースに、システム、プロダクト、オペレーション、コンポーネントの4軸で新しい技術を取り込み、現場に強いエッジの高度化・データ活用拡大を目指して、技術活用のコラボレーション先を探索しています。



コミュニケーター
からひとこと



環野 真理子

長年培った光技術等を発展させ、グローバルなエッジプラットフォーム構築に挑戦しています。製造業やインフラなど、過酷な環境に強い沖電気の技術を活用するアイデアをぜひ議論してください。

■会社概要

代表者 …… 森 孝廣

創業/設立 …… 1949年11月1日

資本金 …… 440億円

事業内容 …… ICT（情報通信技術）ソリューションの提供／プリンタ（ドキュメントソリューション）の製造・販売／EMS（電子機器受託製造サービス）事業／ATMやセキュリティシステムなどの金融ソリューション事業／通信機器、ネットワーク関連製品の設計・開発、製造

従業員数 …… 4,648名

所在地 …… 東京都港区虎ノ門1-7-12

WEB …… <https://www.oki.com/>





サンコーテクノグループ 株式会社 WDS

● 情報通信

知識
製造業
宣言

迅速、高精度な生体認証技術で
未来社会のインフラを創出する

特 徴

- ▶ 顔認証及び静脈認証を行う高性能な生体認証端末の紹介
- ▶ 生体認証端末を利用したソリューション提案
- ▶ AI事業の展開

解決したい課題、実現したい未来

顔認証に使われるAIエッジ端末の開発と導入を通じて、高精度かつ迅速な認証システムを提供し、労働環境の最適化やセキュリティ強化に貢献します。さらに、健康・医療・生活分野へも応用を広げ、利便性と安心を両立した未来社会を目指します。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

弊社では世界最新のテクノロジーを取り入れ、AIエッジ端末の開発を行っています。グループ内の技術を集結することで、製造にかかわる基板設計製造や組み立て、筐体の製作、製品の品質管理など全ての工程を社内で完結できます。サンコーテクノグループの強みを活かし、製造だけではなく、販売後の導入やサポートなどを含め、お客様に合わせて開発から導入サポートまで全ての対応をワンストップで行うことが可能です。



エッジ AI 生体認証機器

コミュニケーター
からひとこと



岡崎 敬

カメラを通した「見て判断する技術」は、私たちの安心・安全な暮らしを支えるだけでなく、業務改善や危険予知など、様々な場面で活かされています。高精度で迅速なAIエッジ端末の可能性を広げ、監視する目ではなく、見守る目として温かい社会インフラの構築を目指しています。

■ 会社概要

代表者 …… 山田 浩之
創業/設立 …… 2014年8月5日
資本金 …… 5,500万円
事業内容 …… 電気通信事業者
従業員数 …… 10名
所在地 …… 東京都荒川区西日暮里2-22-1
ステーションプラザタワー 504

WEB …… <https://www.wd-s.com>
その他 …… AI生体認証技術を用いた端末製造とシステムによる社会問題解決への取り組みを行っています。



チームワークで課題解決を目標とする面々



シンクロア株式会社

●医療光学を用いた照明技術の提供

知識
製造業
宣言

全世界の製造現場にシンクロア可視化技術が導入されている未来を実現

特徴

- ▶ 見たいものを可視化し、見たくないものを不可視化できる世界で初めての工学照明ソリューション
- ▶ 光によるハレーションやグレアを抑え、細かなキズを可視化して、工業製品を検品しやすい状況をつくる
- ▶ 汎用性が非常に高く、あらゆる業界の外観検査や製造装置に組み込みが可能で、タクトタイム向上と生産性向上に寄与

解決したい課題、実現したい未来

当社の製品は、自動車・食品・製薬業界など様々な製品の検品ラインへ導入されてきました。今後はドローン・作業ロボットの制御カメラへの導入や、海外の製造業者への展開を目指し、光学による可視化技術で世界の課題を解決していきます。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

シンクロアが特許を8件取得した「特殊位相偏光技術（PHASERAY）」は、最先端の光学技術を駆使して、対象物の陰影や表面の傷などをクリアに見せる世界初の技術です。工業製品の出荷前検査で発生していたグレアやハレーションなど、光による視覚的ノイズを抑制して、精査しやすい状況を作れます。画像処理によって微細な異物や傷などを消す恐れがなく、QRコード・バーコード等の読取や、薬液等の異物混入、食品パッケージ・プリント基盤の検査など、業界ジャンルを問わずに幅広く可視化できることが特徴です。

画像処理で微小病変を見逃してしまう！？



世界初！ソフトウェア処理なしで鮮明な生画像で取得できる！

コミュニケーション
からひとこと



長 伸明

シンクロア社の「見たいものだけ写す」技術は、製造現場だけでなく、ロボットやドローンなど多様な分野で活躍します。検査や検品をはじめ、まだ想像もつかない課題解決の可能性を秘めた、汎用性の高いテクノロジーです。ぜひ、課題や使い道など議論してみてください。

■会社概要

代表者 綾部 華織
創業/設立 2011年4月7日
資本金 6,000万円
事業内容 特許技術8件取得済みPHASERAY技術を使い、品質管理&外観検査用ソリューション装置の開発・製造販売
従業員数 2名
所在地 神奈川県川崎市幸区新川崎7-7
KBIC本館202号室

WEB <https://www.synqroa.co.jp/>
その他 特許8件(国内6件、海外2件) / かわさきビジネスコンテストで大賞受賞/日経ビジネス主催「すたあととピッチ」コンテストで3位の「スタートアップ部門賞」受賞 / EY WINNING WOMEN 2024 にて、ファイナリスト5名に選出 / EY WINNING WOMEN にて世界各国代表が集まるインドネシアミーティング参加予定



ワーク検証



シンニチ工業

シンニチ工業株式会社

●大径薄肉パイプの製造

知識
製造業
宣言

まだ世の中にない大径薄肉パイプで、
モノづくりを自由にする

特 徴

- ▶ JIS規格品にない大径薄肉パイプのセミオーダー製造が可能
- ▶ 協力会社との連携により多彩な機能付加パイプを提供
- ▶ 新たな金属素材をパイプにする議論も歓迎

解決したい課題、実現したい未来

世に流通するパイプの多くはJIS規格の大量生産品であり、厚板で重く使い勝手が良くないという課題があります。私たちは軽くてニーズに合った使い勝手の良いパイプを提供し、様々な分野に貢献します。今後は100の困りごとに100のモノづくりで応える体制・技術力を目指し、モノづくりの自由度を高めていきます。

注力したい領域

◎エネルギー・環境・資源

□健康・医療・生活

☑食料・農林水産

☑海洋・宇宙

□情報通信

☑モビリティ

☑インフラ・住宅

製品・サービス、強み

鉄・ステンレス・チタンなど様々な鋼種において、板厚は0.6mmから、直径は42.7mmからの大径薄肉パイプを、「連続造管」と「板巻造管」という2つの方法で製造しています。このコア技術やトップ企業に選ばれる技術力、ニーズに合わせた対応力が評価され、弊社のパイプは自動車部品・建機・農機・食品配管・建築資材・圧力容器などに採用されてきました。協力会社との連携でパイプを使った部品製造にも対応しており、2018年からは他社との共同開発や産学連携を積極的に推進しています。



コミュニケーター
からひとこと



重永 美由希

既製品からオーダーメイドまで、課題に合わせてあらゆる金属パイプを提案できます。得意の大径薄肉パイプが活躍する新たな現場と出会うために参加しました。関係ないと思っていた課題もパイプで解決できるかもしれません。皆さんの作りたいもの、作りたい世界を聞かせてください。

■会社概要

代表者 木下 雄輔

創業/設立 1970年9月22日

資本金 7,120万円

事業内容 大径薄肉鋼管(ステンレス、鉄、チタン)の製造・販売

従業員数 55名

所在地 愛知県豊川市平尾町48番地

WEB <https://www.shinnichikogyo.co.jp/>

その他 ISO 9001・ISO 14001の認証/愛知ブランド企業認定(2006年)/愛知環境賞優秀賞受賞(2017年)/はばたく中小企業・小規模事業者300社に選定(2021年)



展示責任者 竹川 千春

株式会社樋口製作所



●ものづくり×自力 DX カンパニー

知識
製造業
宣言

金属加工からシステム開発まで
一気通貫でイノベーションを支える

特 徴

- ▶ 金型製作の確かな加工技術と、設備製作・システム開発による総合提案力
- ▶ 手書きのスケッチからでもアイデアをカタチにできる
- ▶ ものづくりに関わる「加工・制御・システム」の困りごとに全て対応

解決したい課題、実現したい未来

実現したいアイデアやプロダクトがあっても、作り方がわからないと悩んでいる方は多いです。弊社は、ものづくりで培った幅広い技術基盤とノウハウで、プロダクトの構想段階から量産までを一貫してサポートし、金属加工・設備製作・システム開発まで、多様なものづくり技術でイノベーションの実現をお手伝いします。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

創業から87年。創業者の「何でも創ってしまえ!」というスピリッツを体現すべく、社内に充実した開発部隊を持っています。この部隊は、プレス技術を核としながらも、生産技術やロボティクス、さらには情報技術まで幅広い専門性を有しています。特筆すべき事例として、独自のIoTデバイス「チェックマスター」があります。これにより、生産管理の効率化や品質向上を実現しています。また、AIを活用した技術伝承や、プレス加工ノウハウのデジタル化にも取り組んでおり、従来の製造業の枠を超えた革新的なアプローチを展開しています。



顧客の困り事を幅広い技術で解決します

コミュニケーター
からひとこと



伊地知 聡

製造現場を拝見して、いたるところに独自開発のIoT機器が設置されており驚愕でした。その開発力を、自社以外の現場で活かす仕組みやサービスの構築により、多くのものづくり企業の課題解決が進むと思います。

■会社概要

代表者 …… 樋口 徳室
創業/設立 …… 1937年5月1日 / 1963年11月1日
資本金 …… 2,000万円
事業内容 …… 精密金属プレス加工、金型設計・製造、
プラスチック成形、溶接加工、切削加工、組立加工
従業員数 …… 260名

所在地 …… 岐阜県各務原市金属団地44
WEB …… <https://hig-jp.net>
その他 …… 2022年 DXセレクション優良事例選出 / 2022年 全国中小企業クラウド実践大賞受賞 / 2023年「デジタルガバナンス・コード2.0」掲載 / 2024年 DX認定取得



本社工場

ugo

ugo株式会社

● ロボット製造業

知識
製造業
宣言

ロボットをあたりまえの選択肢に

特 徴

- ▶ 業務DXロボット「ugo」シリーズを自社開発
- ▶ ロボット総合管理プラットフォーム「ugo Platform」を開発・提供
- ▶ 警備や点検の外部AIサービスと柔軟に連携可能

解決したい課題、実現したい未来

深刻な人手不足が課題となっている警備、施設点検、受付案内業務の現場において、「ugo」を導入することで省力化・DX化・業務効率化を実現し、企業の生産性向上に貢献します。ロボットとAIを活用し、人とロボティクスが共存する新しい社会システムを構築し、新しい価値観を創造する未来を目指します。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

業務DXロボット「ugo」シリーズは、警備・点検・案内などの業務において省力化とDX化を推進し、深刻な労働力不足の課題を解決するロボットソリューションです。遠隔操作と自律移動を組み合わせ、オフィスビル・商業施設・インフラ設備など多様な環境で活用されており、業務の効率化に貢献します。さらにカメラやセンサーを柔軟にカスタマイズでき、用途に応じた最適な運用が可能。また警備や点検の外部AIともスムーズに連携し、ロボットとAIの相乗効果によって生産性を大幅に向上させます。

コミュニケーター
からひとこと

長谷川 和宏

ローコストで導入可能なシンプルなロボットを自社で製造・開発しています。必要な機能を追加することで様々なユースケースに対応できるので、ロボット・AI活用による省人化を検討する企業はぜひディスカッションをしてみてください。

■ 会社概要

代表者 松井 健
 創業/設立 2018年2月20日
 資本金 1億円
 事業内容 ugoソリューションの提供・運用
 / RaaSフレームワークの開発・
 提供・運用
 従業員数 65名
 所在地 東京都千代田区東神田1-7-8
 プライム東神田ビル8階

WEB <https://ugo.plus/>
 その他 J-Startup選定企業 / 第8回イン
 フラメンテナンス大賞 総務大臣
 賞 / 第11回ロボット大賞 優秀賞
 (ビジネス・社会実装部門) /
 MCPC award 2023 サービス&ソ
 リューション部門 最優秀賞 / 令
 和4年度 東京都ベンチャー技術
 大賞 奨励賞



有限会社モールドモデル

M 有限会社 モールドモデル
MOLD MODEL

● 精密鑄造による金属製品の成形

知識
製造業
宣言

鑄造の可能性を広げ、
未だかつてないものづくりを実現する

特 徴

- ▶ 石膏鑄造の専門トップランナーです
- ▶ 石膏鑄造専門で培った技術で、他社ではできないものも成形
- ▶ 社内一貫生産によって多品種少量品をスピーディに生産

解決したい課題、実現したい未来

弊社はこれまで、切削加工やそのほかの鑄造方法では成形が困難な製品を手掛けてまいりました。非常に複雑な形状の製品の成形も行うことができるため、弊社でしか実現できないものづくりがあります。我々はこのユニークな石膏鑄造技術を活かし、世の中の発展に貢献することを目指し、日々石膏鑄造の技術を磨いています。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

石膏鑄造による金属製品を製作しています。薄肉フィンや複雑形状を得意とし、みなさまの抱える開発試作のさまざまな課題解決にお応えしています。石膏鑄造は、量産金属成形「精密ダイカスト」と同等レベルの品質・精度を持つ鑄造が可能で、薄肉かつ自由度の高い形状で、優れた鑄肌の仕上がりの部品が製造できます。また、金型不要のためコスト性にも優れており、単品から小ロットの製作が最適領域です。より幅広い金属材料や複雑精密形状での成形を目指し、他社や大学と工法の開発を行っています。



特注コントローラーカバーと三方向自由回転「球状歯車」

コミュニケーター
からひとこと



仲村 真 穂

プロトタイピングと相性の良い石膏鑄造について、卓越した技術と長年の経験をもっています。同社も挑戦の機会を求めています。共に挑める新しいものづくりのアイデアについてぜひ議論しましょう！

■ 会社概要

代表者 …… 佐藤 弟憲
創業/設立 …… 1997年7月1日
資本金 …… 300万円

事業内容 …… 鑄造による製品素材の製作に加え、機械による後加工まで行い、製品の完成まで社内で行っています

従業員数 …… 30名
所在地 …… 山梨県都留市法能1087-3
WEB …… <https://www.mold-model.com/>



鑄造風景

株式会社スタートアップクラス

スタクラ
STARTUP CLASS

● スタートアップ専門転職サービス

知識
製造業
宣言

次の100年を照らす、100社を創出する。

特 徴

- ▶ スタートアップ・ディープテック専門特化の転職マッチングサービス
- ▶ スタートアップ志望の即戦力人材を31,000人以上登録(2025年3月時点)
- ▶ 累計1100社以上のスタートアップと契約(うちIPOされた企業は170社以上)

解決したい課題、実現したい未来

スタクラは起業家・スタートアップの採用課題を解決します。日本には、やむにやまれぬ想いに駆られ、夢に本気で挑む心熱き起業家が眠っています。熱意あふれる出会いをつなぎ、志ある起業家を1人でも多く開花させること。起業家と伴走し、次の100年を切り拓くこと。私たちには、その覚悟があります。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

独自のスタートアップ審査プロセスを導入し、事業内容・ビジネスモデル・社会貢献性などの観点から企業を厳選。成長ポテンシャルの高いスタートアップやベンチャー企業の魅力的な求人を掲載しているため、スタートアップへの転職に本気度が高い人材が多数登録しています。わたしたちは、スタートアップ専門の転職サービスとして、「スタートアップで働くこと」を研究し、企業や求職者のリアルな声をもとに、日々サービスを運営しています。



コミュニケーター
からひとこと



中嶋 香織

熱意ある創業者に伴走し、成長に必要なチーム作りをサポートします。特に、企業での実務経験をもった経営人材候補が豊富です。創業期の人材獲得にお悩みをもつベンチャー・スタートアップの皆様はぜひブースにお立ち寄りください。

■ 会社概要

代表者 藤岡 清高

創業/設立 2011年4月5日

資本金 500万円

事業内容 スタートアップ・ディープテック専門特化の転職マッチングサービスの提供

従業員数 17名

所在地 東京都目黒区三田1-12-26-101

WEB <https://startupclass.co.jp/>

その他 厚労省許可番号 13-ユ-305094 (有料人材紹介) / プライバシーマーク 第21004954 (01)号



株式会社リバネスノームズ



● 仲間を集めるブランディング支援

知識
製造業
宣言

組織の規範となることばをつくり、
地球貢献型企業の成長を加速する

特 徴

- ▶ 「ディープインタビュー」をコアサービスとするブランディング会社
- ▶ 編集・ライター経験が豊富なメンバー構成
- ▶ ビジョンやコンセプトの言語化、ウェブサイト制作、採用ブランディングなど

解決したい課題、実現したい未来

企業が新たな一步を踏み出すためには、チームとして目線をそろえ、共通の判断軸をもつための規範が必要です。また、新たな仲間を集めるためには、適切な表現と発信によるブランディングが不可欠です。リバネスノームズは、この2つの要素をつくりだすことを通じて、地球貢献型企業の組織変革を支援し、その成長に貢献します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

リバネスノームズは、物事の本質を言葉で表現することに強みがあります。その起点として実施するのがディープインタビューです。組織における重要なテーマについて、職種や年代の異なる複数人へのインタビューを行い、一致点、共通点、相違点などを客観的な視点で抽出。そのうえで、各々のインタビュー内容を分析・統合することを通じて組織の本質を立体的に理解し、「規範」の言語化を実施しています。これをベースとして、企業理念の策定や新規プロジェクトのコンセプト言語化、ウェブサイト制作等のサービスを提供します。



コアサービス「ディープインタビュー」の概念図

コミュニケーター
からひとこと



岡崎 敬

書籍『知識製造業の新時代』の編集も手がけたブランディングの会社です。もし企業理念やビジョン等の策定における言葉作りに悩みがありましたら、ぜひご相談ください。壁打ちを通じて新しい気づきや、的を射たキーワードなどが得られると思います。

■ 会社概要

代表者 …… 藏本 幸幸

創業/設立 …… 2016年8月8日

資本金 …… 600万円

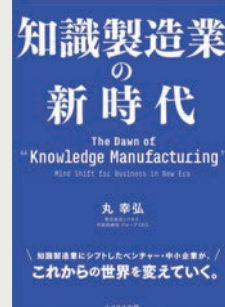
事業内容 …… 仲間を集めるためのブランディング支援。ウェブサイト、ロゴマーク、動画、記事制作など

従業員数 …… 2名

所在地 …… 東京都新宿区下宮比町1-4
飯田橋御幸ビル

WEB …… <https://n.lne.st/>

その他 …… 書籍『知識製造業の新時代』の編集を担当



mylops⁺

株式会社マイロプス

● デジタルコミュニケーションデザイン

知識
製造業
宣言知識は外部に伝わり交わることで
より強くユニークになると信じています

特 徴

- ▶ 良い技術・新規技術を社内外に伝えていく支援
- ▶ ブランディング強化による会社内部の活性化
- ▶ デザイナーの参画によるイノベーション創出支援

解決したい課題、実現したい未来

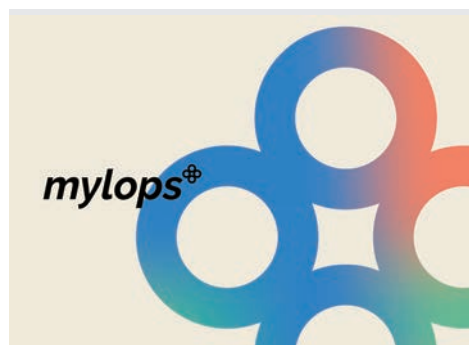
デザインとは単に表層を取り繕うだけではなく、そのプロダクト・ビジネスが目指すビジョンを正しく伝えるための概念です。私たちは良いプロダクト・ビジネスが多くの人に伝わり次のステージに踏み出すための支援を行います。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ◎ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

マイロプスはWeb領域を中心に、サイト構築やブランディングの支援、CMS やシステムの構築を行っています。企画戦略の立案やUIデザイン、サイトの運用まで、様々な形でクライアントのプロジェクトに参加。クリエイティブやシステム開発の全てを「デザイン」と捉え、総合的なソリューションを提供しています。

コミュニケーター
からひとこと

川名 祥史

テクノロジーをデザインの力でわかりやすく社会に届けてくれる集団です。自社の技術やプロダクトの魅力がうまく伝わらない、そんな課題をかかえる企業の皆様は是非相談してみてください。自社のブランディングからWEB制作まで、一気通貫で対応してくれます。

■ 会社概要

代表者 折坂 聡彦
創業/設立 2006年5月23日

資本金 2,300万円

事業内容 デザインの力でビジネスを
活性化させる支援

従業員数 7名

所在地 東京都渋谷区東1-27-10
渋谷TYビル4F

WEB <https://mylops.jp/>

その他 「Web制作会社年鑑2024（マイナビ出版）」掲載 / PowerCMS
Partner Pro / SixApartProNet





株式会社ジェ・スク

●炭酸装置開発メーカー

知識
製造業
宣言

炭酸ナノバブル技術で、
経済活動と健康づくりを創造します！

特 徴

- ▶「炭酸技術」「ファインバブル技術」「気液溶解技術」専門の開発メーカー
- ▶医療機関や高齢者施設、美容施設などに人工炭酸泉装置の設置実績あり
- ▶自社技術を活用して開発型OEM事業を展開、試作は1個からでも製作可能

解決したい課題、実現したい未来

日本の医療費が非常に膨れ上がっている大きな課題に対して、健康を維持できるような仕組みが求められている。炭酸泉のちからで体づくりを手助けすることで医療機関の負担を解決し、自ら健康を維持する社会を実現します。

注力したい領域

- ☒エネルギー・環境・資源
- ☒健康・医療・生活
- ☒食料・農林水産
- ☒海洋・宇宙
- ☐情報通信
- ☐モビリティ
- ☐インフラ・住宅

製品・サービス、強み

炭酸泉の装置の開発において、日本有数の医療機関と連携し、炭酸泉治療におけるデータ収集・集積を行ってきました。装置は医療機関をはじめ、高齢者施設、美容施設など様々な施設に導入されており、医療分野においては、ASO（閉塞性動脈硬化症）やPAD（末梢動脈疾患）の治療で成果を上げており、国内外で高い評価を得ています。また、日本で唯一、水道に直接接続して飲料用の炭酸水を作ることができます。



高濃度炭酸水素イオン水製造装置
BICARBONATED CREA

コミュニケーター
からひとこと



藤田 大悟

医療への応用、生き物、食品などで数多くのパートナーと共に開発をしており、炭酸をナノバブル化することに、エビデンスを含めここまでこだわっている企業は日本唯一です。炭酸のナノバブルの力を最大限いかした装置開発も一緒にできるため、フットワーク軽く議論を開始できます。

■会社概要

代表者 …… 瀬川 純市郎

創業/設立 …… 2012年2月2日/
2014年8月12日

資本金 …… 1,500万円

事業内容 …… 炭酸装置の開発・設計・製造
及び販売

従業員数 …… 3名

所在地 …… 岩手県八幡平市平笠第24地割1番地78

WEB …… <https://jesc.info>

その他 …… 2014年：第50回岩手県発明くふう展・岩手県知事
賞受賞／

2015年：第51回岩手県発明くふう展・発明協会会
長奨励賞受賞／2018年：平成30年度東北地方
発明表彰・中小企業庁長官賞受賞／

2018年：第1回UAE経済交流キャラバン日本代表



代表取締役社長 瀬川 純市郎



株式会社e6s

● トイレシステムの開発・製造・販売

知識
製造業
宣言

インフラに依存しない水洗システムで、
トイレ問題の解決へ

特徴

- ▶ 最新の「フェーズフリー設計」により、災害時でも日常の水洗トイレの継続利用を可能にする
- ▶ トイレ難民を作らないために一緒に活動していただける企業を募集しています
- ▶ 機械の製造、メンテナンス、IOT化など、協力先を募集しています

解決したい課題、実現したい未来

トイレ洗浄水の再生と同時に廃棄物を減容し、衛生的に回収する持続可能な水洗トイレシステム「e6s（特許取得済み）」の開発・製造・販売を行っています。e6sを事前に設置しておけば、インフラが途切れた時にも、日常使用しているトイレを使い続けることができます。トイレ難民を作らないために一緒に活動をしていただける企業を探しています。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

「e6s」は、トイレ洗浄水の再生と、廃棄物を減容し衛生的に回収する水洗トイレシステムです。「持続可能」にこだわり、利用者自身の維持管理を可能にしたメンテナンス設計を実現。また切換え弁の設置により、インフラ利用からオフグリッド仕様へ切り替えることを可能にした「フェーズフリー対応」が強みです。維持管理が困難と言われているバイオ式やぼっとん式、浄化槽とは全く別のアプローチを可能にした、最新の「フェーズフリートイレ」技術です。



e6s システム

コミュニケーター
からひとこと



小玉 悠然

災害時におけるトイレ環境の確保は、衛生環境の向上のみならず、人間的な尊厳を守る上でも重要な要素となります。そして、e6sの普及は、平時・有事共に安心安全で環境に負荷の少ない社会インフラが広がることに繋がります。本システムが世界に広がる仕組みを共に実現しませんか。

■ 会社概要

代表者 高波 正充

創業/設立 2021年4月5日

資本金 700万円

事業内容 トイレ洗浄水を再生すると同時に廃棄物を減容して衛生的に安全に回収する持続可能水洗トイレシステム「e6s」の開発・製造・販売

従業員数 3名

所在地 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
オーシャンゲートみなとみらい

WEB <https://e6s.co.jp/>

その他 特願2021-078203 / かながわビジネスオーディション2024【特別賞】【神奈川産業振興センター賞】 / 2023土木学会【技術開発賞】 / 横浜ビジネスアワード2022～YOXOアワード～一般部門【入選】 / 「第二回技術シーズの社会実装化助成金 はまぎん財団Frontiers」【優秀賞】 / 福島ベンチャーアワード2022【優秀賞】 / 2022～2024福島イノベーションコースト【採択】



自治体導入時のセレモニー



株式会社 三松

株式会社三松

● 金属加工及び装置開発・組立業

知識
製造業
宣言最先端加工技術と柔軟な多品種少量生産対応で
ものづくりを支える

特 徴

- ▶ 北部九州のものづくり企業のネットワークを構築
- ▶ 半導体やロボット、医療機器、農業機械まで幅広い実績あり
- ▶ 技術ノウハウを体系化した「三松大学」で社内外の人材育成を推進

解決したい課題、実現したい未来

「ライフサイエンス」「環境」「エネルギー」分野のものづくり支援を通じて、人々の未来を明るく照らすことを目指します。最先端加工技術の追求とフレキシブルな多品種少量生産でモノづくりを支える企業として、常に変化しながら、課題解決に取り組んでいます。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

☑ 健康・医療・生活

☑ 食料・農林水産

☑ 海洋・宇宙

□ 情報通信

□ モビリティ

□ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

1974年に葉たばこ乾燥機の部材製作からスタート。薄物板金加工を基本技術としています。製造メーカーの機能を代行するサービス業を標榜し、設計・開発、部品加工、外注購買、アッセンブリ、工場管理・技能教育まで、「お客様のどんなわがままにもお応えする」をモットーに対応します。1個の小ロット試作から数千個の中ロット量産品に対応できる「小ロット製造代行サービス」を標榜する開発支援、生産改善支援企業です。川崎重工業、三菱電機、安川電機の認定ロボットシステムインテグレーターで、画像解析とロボット連携が強みです。

金属パーツ自社製作

■ パーツのみの製作も承ります ■

SANMATSU

コミュニケーター
からひとこと

伊知地 聡

月間10万点を超える生産品のうち約70%は一点ものという、九州を代表する技術者集団です。アグリスタートアップへの出資、再生医療の発展へ向けた培養装置の自動化など、社会課題解決へ向けた実績も多く、ものづくりで課題があれば最初にお声がけください！

■ 会社概要

代表者 …… 田名部 徹朗

創業/設立 …… 1972年3月8日

資本金 …… 8,500万円

事業内容 …… 金属加工及び装置開発・組立業。1個1台からの開発設計・製造を行う小ロット製造代行サービス業

従業員数 …… 183名

所在地 …… 福岡県筑紫野市岡田3-10-9

WEB …… <https://www.sanmatsu.com>

本社・開発支援工場 SID-E7



株式会社メトロール

●精密位置決めセンサ

知識
製造業
宣言

生産設備の自動化・無人化により
世界のものづくりイノベーションを支える

特 徴

- ▶ 世界74ヶ国・200社以上の工作機械・装置メーカーから採用実績あり
- ▶ 世界初の機械式位置決めセンサは高精度で安価
- ▶ 「縦割り組織」と「ネットワーク型組織」を共存させるユニークな組織体制

解決したい課題、実現したい未来

「無線給電式精密位置決めセンサ」で、工作機械・ロボット・医療装置などの生産性向上や不良削減をサポート。バッテリー交換が必要なく、無人作業が可能なので、現場の作業効率を向上できます。たとえ前例がなくとも、装置の付加価値を高めるセンサを企画・設計・提案できるメーカーです。

注力したい領域

◎エネルギー・環境・資源

✓健康・医療・生活

□食料・農林水産

✓海洋・宇宙

✓情報通信

□モビリティ

□インフラ・住宅

製品・サービス、強み

【高い精度】ミクロンレベルの高精度で位置決めを実現。加工不良やダウンタイムを防ぎ生産性向上に貢献します／【悪環境への対応】保護等級IP67で、クーラントや切粉が飛散する悪環境下でも使用可能なセンサ多数／【コストパフォーマンス】高精度センサを低価格で提供。高額なアンプ付きセンサや海外製のセンサからの置き換えでコストダウンを実現。製品はECサイトや各国代理店を通じてご購入頂けます／【柔軟なカスタマイズ】1万通り以上のカスタマイズの組合せに加えて、お客様専用のオーダーメイド品開発を承ります。



コミュニケーター
からひとこと



長谷川 和宏

位置決めセンサメーカーでありながら、工作機械における課題解決を目的に様々な研究開発を積極的に進める企業です。工作機械メーカーへのアプローチを考えたいスタートアップ、センサ連携で価値を発揮するスタートアップはぜひディスカッションしてみてください。

■会社概要

代表者 …… 松橋 卓司

創業/設立 …… 1976年6月10日

資本金 …… 4,000万円

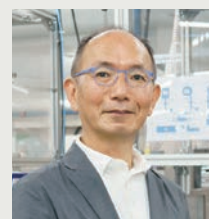
事業内容 …… 工場の自動化に貢献する「精密位置決めセンサ」の専門メーカー

従業員数 …… 120名

所在地 …… 東京都立川市高松町1-100

WEB …… <https://www.metrol.co.jp>

その他 …… 東京都「経営革新優秀賞 優秀賞」受賞／日刊工業新聞社「第40回優秀経営者顕彰 最優秀経営者賞」受賞／公益社団法人中小企業研究センター「第57回グッドカンパニー大賞 優秀企業賞」受賞



代表取締役社長 松橋卓司



FiberCraze株式会社

● 高機能性繊維・フィルムの研究開発

知識
製造業
宣言

ナノテクノロジーで世界の感染症を解決し、
ミライのインフラ素材を創る

特 徴

- ▶ ケミカルフリーで感染症を防ぐ防虫素材を開発
- ▶ 繊維業界の染色プロセスにおいて、CO₂を75%削減、水80%削減
- ▶ ヘルスケアから産業分野まで、幅広い産業分野に応用可能

解決したい課題、実現したい未来

近年、東南アジアでは気候変動などによって、蚊を媒介する病原体としてデング熱やマラリアなどの感染症が深刻化しています。防虫をはじめとする様々な機能性素材に使用される技術には、マイクロプラスチック生成により海洋問題に繋がることが指摘されています。我々は、環境負荷の少ない高機能性素材で、これらの課題を解決します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ◎ 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- 情報通信
- モビリティ
- インフラ・住宅

製品・サービス、強み

『世界が誇る素材を創る』をミッションに掲げ、学術研究から生まれた世界初の多孔化技術をコアに持つ岐阜大学発スタートアップです。これまで工業的には"欠陥"とみなされていた材料の破壊現象に着目し、これを精密にコントロールすることで材料の強度を低下させることなく内部にナノサイズの"あな"を空ける世界初の技術を確立しました。30年間の研究開発を経て生まれたのが、高機能性繊維Craze-tex[®]です。感染症を防ぐ防虫素材の開発を中心に、社会課題解決や生活・産業の発展を担うインフラ素材の確立を目指します。



ナノ多孔繊維「Craze-tex[®]」

コミュニケーター
からひとこと



長 伸明

素材表面にナノサイズの穴を開け、特定成分を閉じ込める技術で革新的な機能素材開発を進めています。樹脂や繊維の機能付与や物性コントロールが得意です。機能性薬剤の開発を行う製薬・ケミカルメーカーや社会課題の解消を目指す最終製品メーカーなど幅広く連携を模索しています。

■ 会社概要

代表者 …… 長曾我部 竣也
創業/設立 …… 2021年9月22日
資本金 …… 2,100万円
事業内容 …… 岐阜大学の研究成果から生まれた「繊維やフィルム素材の多孔化技術」をコアとした高機能性素材の開発
従業員数 …… 4名
所在地 …… 岐阜県岐阜市柳戸1-1
WEB …… <https://www.fibercraze.com/ja>

その他 …… 2021年10月 岐阜大学発ベンチャー7号に認定 / 2023年8月 シードラウンドで初の資金調達4000万円を実施 / 2023年9月 岐阜県「ぎふプライムスタートアップ」に認定 / 2024年2月 “Deep Tech Venture of the Year in Japan”のスタートアップ部門に選出 / 2024年4月 マレーシアの感染症研究センターTIDRECと共同研究のMoA契約を締結





長谷虎紡績株式会社
HASETORA SPINNING CO., LTD.

長谷虎紡績株式会社

● 繊維素材・繊維製品製造販売

知識
製造業
宣言

繊維をはじめとする素材の力で、
世界が抱える社会課題を解決する

特徴

- ▶ 130年以上蓄積してきた知識とアセットをもつ
- ▶ 「糸にする」技術はどこにも負けない
- ▶ 繊維に限らず新素材の開発にも挑戦しようとしている

解決したい課題、実現したい未来

私たちは「素材で世界を変える!」という大きな夢を掲げ、1887年の創業以来、繊維に携わった事業を展開してきました。これまで多様な繊維素材を開発・製造してきた知識を活かして、農業や環境・エネルギーなどの異分野や、繊維に限定しない新素材に幅を広げ、地球に貢献する新事業を生み出していきたいと考えています。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

紡績事業とインテリア事業を軸に、原材料の手配から製品出荷までを一貫体制でコーディネートし、どこにも真似のできないモノづくりを行っています。独自の機能性繊維を活用した素材・製品開発や、国内外のベンチャー企業との協業を積極的に行い、バイオ素材などの環境負荷を低減する素材の製品化にも力を入れています。また、地域や学校と連携した羽毛や繊維製品等のリサイクル、中堅企業同士の連携による循環ビジネスの構築を通じて、世界の抱える課題の解決に取り組んでいます。



私たちにしか作れない超難燃繊維は
宇宙ロケットにも採用

コミュニケーター
からひとこと



松原 尚子

知識製造業のロールモデルとなる地域中核企業です。130年以上の歴史の中で「自分たちに繊維にできないものはない」という高い技術力を培い、これからの時代に必要となる地球貢献型事業の創造を目指しています。異分野連携にも積極的に取り組んでいます。

会社概要

代表者 長谷 享治

創業/設立 1887年6月1日 /
1947年1月8日

資本金 9,500万円

事業内容 各種繊維製品ならびにカーペット
の製造加工および販売

従業員数 200名

所在地 岐阜県羽島市江吉良町197-1

WEB <https://hasetora.co.jp/>

その他 関連会社に
(株)長谷虎リネンサービス
(株)ファーベスト
長谷虎興業(株)
瑞浪農林(株)
(株)ハイボーン
スピタージュ (株)



ここからベンチャーをはじめ連携が生まれた



インテリジェント・サーフェス株式会社

● 革新的生体親和性材料開発・製造

知識
製造業
宣言

生体に優しい素材とコーティングで
人と人工物のボーダーをなくす

特 徴

- ▶ 生体親和性を持つ MPC ポリマーコーティング技術
- ▶ 基材や用途にあわせた分子設計と合成が可能
- ▶ 注射針など医療機器メーカーの栃木精工と資本業務提携

解決したい課題、実現したい未来

生体に人工物が接触すると、炎症や血栓生成等のトラブルが起きてしまいます。当社の MPC ポリマーは、生体膜構造に類似した生体に優しい材料で、これをコートした革新的バイオインターフェースは、人工物の表面に自然で機能的な表面 (Intelligent Surfaces) を形成。人と人工物の機能的融合を実現します。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

高度な生体親和性を持つ MPC ポリマーは、タンパク質などを吸着させない高い防汚性や、親水性、潤滑性、曇り防止効果などを併せ持つ極めてユニークな材料です。当社は様々な素材表面や製品形状、用途・使用環境に最適な MPC ポリマーの分子構造の設計と合成が可能です。また物理的・化学的手法で、素材の表面に密着性高くコーティングする知見・ノウハウを多数保有しています。この技術は、各種医療機器（単回使用から長期間体内に埋植するものまで）や、細胞培養などのバイオサイエンス領域、場合によっては日用品まで幅広い展開が可能です。



生体に優しい医療機器へと再生するコーティング：MPCoat® シリーズ

コミュニケーション
からひとこと



岡崎 敬

細胞膜の構成分子のひとつであるリン脂質の構造と機能を活かした独自のポリマーコーティング技術です。埋め込み型医療機器等でのトラブルを回避するだけでなく、人体と機械の機能的融合を実現し、人類が身体機能を拡張し続ける上で不可欠な技術であると考えています。

■ 会社概要

代表者 …… 切通 義弘
創業/設立 …… 2016年5月2日
資本金 …… 9,000万円
事業内容 …… 機能性高分子化合物製品による
表面改質剤の開発、製造及び販売
従業員数 …… 6名

所在地 …… 千葉県柏市柏の葉5-4-19
東大柏ベンチャープラザ 305・310
WEB …… <http://intelligent-surfaces.co.jp>
その他 …… 東京科学大学認定ベンチャー 第T122号
／東大発ベンチャー



代表取締役社長 CEO&CTO
切通 義弘



東工業株式会社

● 各種ガラス製品製造業

知識
製造業
宣言

ガラス製品の製造ノウハウで、
人や環境に優しいモノづくりに貢献する

特 徴

- ▶ 電球用ガラスバルブや蛍光灯用ガラス管、魔法瓶等の各種ガラス製品の製造・加工に強み
- ▶ 軟質ガラス・硬質ガラスの生産ラインを備え、大型製造機械を敷設して量産体制を構築
- ▶ 金属の蒸着やプリントにも対応可能

解決したい課題、実現したい未来

環境問題に社会から大きな注目が集まる中、ガラスの特性を活かして環境や人に優しいモノづくりを行っていきます。また、培った技術を活かし、他者との連携の中で、食器やカトラリーなど生活に密着した製品や、化粧品や香水瓶などの嗜好品、耐熱性が必要な魔法瓶、医療市場向けのガラス機器などの分野にも進出していきたいと考えています。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ◎ 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- 情報通信
- モビリティ
- インフラ・住宅

製品・サービス、強み

ガラスは流動性があり、扱いが難しい素材です。私たちはこの素材が持つ特徴を深く理解し、製造インフラの整備とノウハウを蓄積し続けてきました。製造面では、機械による検査と人による目視を合わせて確実な検品を行い、高品質かつ安心・安全なガラス製品づくりを行っています。さらにガラス製品表面への印刷や蒸着加工により付加価値を付けることも可能です。お客様と話し合いを重ね、その言葉に耳を傾け、常に心を込めたモノづくりを行い、高品質な製品を提供しながら、信頼と満足度の向上を目指しています。



電球用ガラスバルブ、蛍光灯用ガラス管、魔法瓶等各種ガラス製品

コミュニケーター
からひとこと



伊知地 聡

ガラスは再利用がしやすく、新たな活用アイデアや連携により環境性能や機能性の向上が期待できます。昨年も出展企業同士で機能性塗料を塗布したガラス製品の具体的な試作開発も進んでいます。各種容器、家電・機械装置周辺での利用などぜひご相談ください。

■ 会社概要

代表者 福澤 慶明
創業/設立 1955年8月31日
資本金 3,200万円
事業内容 電球用ガラスバルブ、蛍光灯用ガラス管、ホウケイ酸ガラスによる魔法瓶等の各種ガラス製品の製造・加工
従業員数 95名

所在地 東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-16
WEB <http://www.azuma-glass.com/>
その他 ISO9001 / ISO14001 認証取得 / 彩の国指定工場



妻沼事業所正門より

東海興業株式会社

 TOKAI KOGYO

●自動車部品製造

知識
製造業
宣言

弊社オリジナルマテリアルを強みに
業界を飛び越えて社会貢献する

特 徴

- ▶ 弊社開発の高性能スポンジ「ラテキュラル」の幅広い業界への進出
- ▶ 弊社特許技術「SUEDETEX」の幅広い業界への進出
- ▶ 廃材を積極的に利用し、持続可能な社会を担う役割を果たす

解決したい課題、実現したい未来

1) 毎月のように出る大量のスポンジ廃材の再利用を軸として、地球環境の改善に貢献します。 2) 弊社の樹脂加飾技術「SUEDETEX」を活用して、業界の垣根を超えたモノマテリアル化を推進します。 単一素材のメリットを広く認識してもらい、環境配慮型の製品を積極的に選ぶ意識を高めます。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

創業80年の自動車部品メーカーとして、お客様の求める品質、性能に応え続けてきた実績があります。自動車用ウレタンシートは座り心地はもちろんの事、高い耐久性が求められます。社内で材料開発から生産、評価まで一貫して行えます。また、樹脂等の新素材の開発にも力をいれており、他業界の方々とも積極的に手を取り合って新しい価値を想像する事を得意としています。目先の売上にとらわれず、少量でも社会意義のある取り組みを推進していきます。



弊社特許技術「SUEDETEX」樹脂の表面をスエード調（植毛風）に仕上げ、樹脂単体でのモノマテリアル化を実現

コミュニケーション
からひとこと



伊地知 聡

2024年度の中部経済産業局事業で、スタートアップとの連携を支援させていただきました。非常にクイックに動いてくださり、中小企業も巻き込んだユニークな事例に繋がりました。高い技術力と、現場の方のパッションが強みなので、ぜひ一緒に新しい資源循環モデルの構築を目指しませんか。

会社概要

代表者 木村 友一
創業/設立 1947年3月
資本金 3億135万円
事業内容 自動車用樹脂・ゴム・シート部品、建材用部品およびその関連商品の製造販売
従業員数 1264名

所在地 愛知県大府市長根町4-1
WEB <https://tokaikogyo.co.jp/>
その他 ISO9001 / ISO14001 / IATF16949



取締役社長・CEO 木村 友一

株式会社 UMIAILE

●海洋ロボット製造業

知識
製造業
宣言

**「海に見える化」を通じて、100年後も
住み続けられる平和で豊かな地球をつくる**

特 徵

- ▶ Honda発スタートアップ、海洋観測に最先端技術を融合して海の活用を持続可能に支える
- ▶ 小型無人ボート「UMIAILE ASV」による大規模海洋センサープラットフォームの構築
- ▶ 高精度かつリアルタイムな海洋データ収集・分析サービスの提供

解決したい課題、実現したい未来

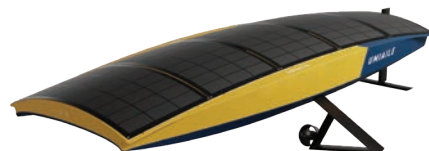
日本は世界有数の海洋資源国ですが、排他的経済水域や沿岸海域のリアルタイムな把握・活用に多くの課題が残っています。膨大なコストがかかる有人船舶による海洋観測は、観測頻度・密度の向上が難しく、得られる情報量が限られていました。私達は洋上を自律航行する小型モビリティの開発を通じて、洋上産業の発展と海洋資源の持続可能性に貢献します。

注力したい領域

- ✔ エネルギー・環境・資源
- 健康・医療・生活
- ✔ 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- ✔ 情報通信
- ✔ モビリティ
- ✔ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

UMIAILEは、高速で自律航行する小型無人ボート「UMIAILE ASV」を活用することによって、リアルタイムでの海洋観測の高頻度化・高密度化を実現します。水中翼を用いた独自の船体姿勢制御技術により、潮流の速い海域でも安定した航行が可能です。目的に応じた多様な観測機器を搭載することで、風・波浪・潮位などの海象情報や、海洋生態系、海洋地質などの海洋データを収集することができます。四方を海に囲まれた海洋資源を誇る日本から、大規模海洋センサープラットフォームを構築します。



UMTAILE ASV



コミュニケーター からひとこと

西山 哲史

日本は海に取り囲まれた国ですが、その海のことを私たちはほとんど分かっていません。分からない場所では、産業を生み出すのも、異業種から参入するのも難しい。UMIAILEは「海の見える化」を実現し、既存海洋産業を発展させるとともに、新しい産業基盤を作っていくとしています。

■ 会社概要

代表者 板井 亮佑

創業/設立 ----- 2025年1月22日

事業内容 ー 小型無人ボート「UMIAILE ASV」による、海洋データの収集と分析

従業員数……3名

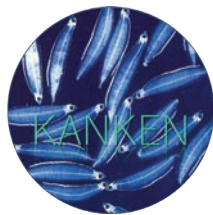
所在地 東京都墨田区横川1-16-3
センターオブガレージ Ground8

WEB <https://umiaile.com/>

その他……………2025年1月16日：内閣府主催の宇宙を活用したビジネスプランコンテスト「S-Booster 2024」の最終選抜会において、『審査員特別賞』を受賞



UMIAI EASV と 共同創業メンバー



株式会社 環境内水面資源研究所

● 藻場等の製造・設計・研究開発

知識
製造業
宣言

資源再循環によるエネルギーの流動と固定化で
次世代の未来に繋げる

特徴

- ▶ 豊かな漁場を生み出す海、沿岸、水産資源の確保
- ▶ 養殖等による漁業の活性化のための藻場に必要「構造体」の設計
- ▶ 種々の無機物および有機物を用いた構造物体の作製

解決したい課題、実現したい未来

近年、海の「磯焼け」が深刻です。生態系の維持には、稚魚や幼体の隠れ家となる豊かな「藻場」が沿岸に欠かせません。「藻場」と、その造成に必要な「構造体」の設計に重点的に取り組み、磯焼けをなくしていきます。そして、豊かな漁場を生み出す海にしていきます。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社では、長年の経験に基づくビオトープ構築のノウハウがあり、研究拠点では既に多様な生態系を確立させています。生態系確立のための基礎には、生物を介した無機物および有機物の有効活用による構造物の作製と、これら構造物を利用した初期の生態系、植物（動物）プランクトン生成→藻場造成→漁礁（ゆりかご）を実証するために、海洋（酒田港北港）で基礎実験をしています。特に生態系のシンボルでもある「ウナギ」に着目し、シラスウナギの遡上を視野に、仔魚の隠れ家としての「藻場」と、その造成に必要な「構造体」を提供します。



海中に投入した直後の魚礁ブロック。
1年後には岩牡蠣が自然定着した

コミュニケーター
からひとこと



井上 麻衣

何十年も先を見据えて、よりよい水辺の生態系の確立が各地でできることを期待しています。昨年も知識製造による新たな連携が生まれました。藻場構築のための造形物の材料や形などの製作にまつわる知識と生態系におけるエネルギー流動と固定化の知識とをもって、より実践に結びつく知識との化学反応を求めています。

■ 会社概要

代表者 …… 佐藤 嘉

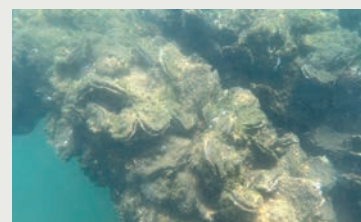
創業/設立 …… 2023年4月21日

事業内容 …… 内水面環境および沿岸部における生態系の調査・研究・保全および管理

従業員数 …… 5名

所在地 …… 山形県鶴岡市羽黒町市野山字山王林125-1

その他 …… メンバー紹介: 佐藤嘉(博士:工学)、山澤清(ビオトープ研究家、元ミラサボ専門指導員)



1年後、魚礁ブロックの表面が見えないほど岩牡蠣が群生している



株式会社イノカ

● 環境コンサルティング

知識
製造業
宣言

人類の選択肢を増やし、
人も自然も栄える世界をつくる

特 徴

- ▶ 陸上に海洋生態系を再現する独自技術「環境移送技術®」を開発
- ▶ 水域の自然環境を再現することで、様々な実験や解析をサポートする
- ▶ リアルな生態系を用いた教育や、都市部でも様々な実験を可能にする

解決したい課題、実現したい未来

イノカでは、「人類の選択肢を増やし、人も自然も栄える世界をつくる。」というミッションを掲げ、産官学と連携し、共に持続可能な豊かな地球を目指し、自然関連の新規事業創出を行っています。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

イノカは、自然環境の総合的プロフェッショナル集団です。サンゴやマングローブ、海藻などの海洋生物から、ゲンゴロウやメダカなどの淡水生物まで、水圏の生態専門家を中心に、大学教授をはじめとする自然科学の研究者、そして環境ビジネスの専門家など、多様なバックグラウンドを持つ人材が在籍しています。彼らを結びつける共通項は、自然や生き物が好きということ。「自分たちが好きな自然をみつづける。」というフィロソフィーのもと、一人一人が自分が好きな自然や生き物をもっと探究したい、そして未来に繋げたいという想いを持って活動しております。



コミュニケーション
からひとこと



小玉 悠然

日々変動する地球環境との未来は、人以外の生き物たちの目線からも地球を俯瞰する事が重要です。イノカには、自分の大好きな生き物の目線から世界を語り、技術の社会実装を支援するメンバーがいます。世界の7割を占める海をテーマに、持続可能なビジネスについて議論しましょう。

■ 会社概要

代表者 高倉 葉太

創業/設立 2019年4月9日

資本金 2,200万円

事業内容 アクアリウムとAI・IoTを掛け合わせ、任意の生態圏を水槽内に再現する『環境移送技術®』を開発

従業員数 15名

所在地 東京都文京区後楽2丁目3-21
住友不動産飯田橋ビル1階

WEB <https://corp.innoqua.jp/>

その他 リアルテックベンチャー・オブ・ザ・イヤー 2022 スタートアップ部門 受賞 / 全国の藻場保全チーム「渚フォーラム」を発足 / 飼育技術を活用した新規技術開発「INNOVATE AQUARIUM AWARD」を開発





ShrimpTech JIRCAS 株式会社

● 先端科学でエビ養殖

知識
製造業
宣言

試験研究と実践で未来を拓く

特 徴

- ▶ 豊富な開発研究の経験を有する
- ▶ 世界トップレベルのエビの生理生化学的研究を実施
- ▶ 基礎研究から養殖産業の実用段階まで応用・普及を進める

解決したい課題、実現したい未来

エビ養殖業における環境破壊や病気の突発的な発生といった問題に立ち向かい、科学的根拠に基づいたエビ養殖技術を開発し続けています。真の意味での持続性のあるエビ養殖業の実現に貢献することで、エビが今よりも気軽にスーパーマーケットで購入でき、自宅で楽しめる時代を目指します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社CEOは「屋内型エビ生産システム：ISPS」の主発明者の一人であり、日本初の大型エビプラントの設立にも貢献した、豊富な開発研究経験を持ちます。主なサービスとして、エビの陸上養殖に関するコンサルティング（立地条件の検証、水環境の整備、施設の設計・建設・稼働など）、受託研究（飼料やサプリメントなどの商品開発における試験デザイン・実施・結果取りまとめ）、そして閉鎖循環式エビ養殖技術を駆使した稚エビ生産・販売を展開しています。長年のエビの生理生化学的研究により、この分野で世界トップレベルの知見を有していることも強みです。



閉鎖系システムにて生産された稚エビ（左下）
供給先の大型エビプラント（右上）商品サイズの
バナメイエビ（右下）

コミュニケーター
からひとこと



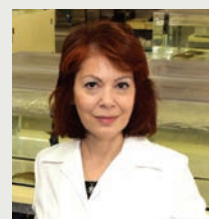
川名 祥史

ShrimpTech JIRCAS 株式会社は、確かな技術力と豊富な経験に基づき、持続可能なエビ養殖の未来を創造するリーディングカンパニーです。環境に優しく、安全なエビの安定供給に貢献します。

■ 会社概要

代表者 マーシー・ワイルダー
創業/設立 2022年2月8日
資本金 601万円
事業内容 エビの陸上養殖に関するコンサルティング
受託研究、稚エビ生産・販売
従業員数 6名

所在地 茨城県つくば市大わし1-1
WEB <https://shrimptech.co.jp/>
その他 国立研究開発法人国際農林水産業研究センター（JIRCAS）発ベンチャー企業



代表取締役社長
Marcy N. Wilder



株式会社ARK

● 水産・陸上養殖

知識
製造業
宣言

どこでもだれでも
陸上養殖ができる仕組みと文化をつくる。

特徴

- ▶ 陸上養殖未経験者でも導入が可能な小型陸上養殖システムを開発
- ▶ 魚類から藻類まで幅広い養殖魚種に対応
- ▶ 自社及びパートナー各社との技術研究によって養殖可能な魚種を拡充

解決したい課題、実現したい未来

1) 様々な理由で難易度が高いと言われている陸上養殖を当たり前にし、日本を代表する産業にしたい。2) 海洋環境の変化の影響を受ける漁船漁業、海面養殖の代替手段として、陸上養殖を普及させたい。3) 小中規模でも参入できる陸上養殖「マイクロアクアカルチャー」によって水産業界の裾野をひろげたい。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

消費地に近い狭い土地で、海がなくても魚の養殖が可能です。既存の設備と比較して圧倒的に低いCAPEX / OPEXで始動でき、設備導入が早いので、最短6ヶ月程度で養殖場を立ち上げられます。また、様々な魚種を小ロット多品種で養殖でき、生産量と出荷量を段階的・可変的に増減できることも特徴。ジャパंकオリティの美味しい魚を安心・安全に生産できます。



陸上養殖・活魚蓄養向け アルミフレーム断熱水槽プラットフォーム「ARK ZERO」

コミュニケーター
からひとこと



松原 尚子

タンパク質危機、環境問題、グローバルサプライチェーンに立ち向かうベンチャー企業です。小規模な投資と運用で分散型の水産養殖を始められるという、水産業界における新モデルを開発しています。共に陸上養殖の民主化を進めるパートナーを探しています。

会社概要

代表者 栗原 洋介
創業/設立 2020年12月23日
事業内容 閉鎖循環式陸上養殖システムの開発・製造・販売及びARKを用いた陸上養殖の事業開発
従業員数 25名
所在地 神奈川県平塚市千石河岸57-7

WEB <https://www.ark.inc/>
その他 JR東日本スタートアッププログラム2021 審査員特別賞 / マリンテックグランプリ2022 / ICC FUKUOKA 2022 REALTECH CATAPULT 2位 / Deep Tech Venture of the Year 2023



本社・平塚陸上養殖研究所



株式会社天地人

● 衛星データ活用ソリューションの提供

知識
製造業
宣言

衛星データ×AIで社会課題を解決する

特 徴

- ▶ 衛星データ×AIで多分野の社会課題を解決し、新たな価値を創出
- ▶ 自治体・企業向けに、環境・インフラ・農業などで活用できる実用的なデータソリューションを提供
- ▶ カーボנקレジット・スマート農業・防災対策など、多領域での課題解決を実現

解決したい課題、実現したい未来

衛星データとAIを駆使して、気候変動やインフラの老朽化などの社会課題を見える化し、データに基づく最適な解決策を提供します。再生可能エネルギーの配置、農業の収量向上、水インフラの管理など、多様な分野で新たな価値を創造し、テクノロジーの力で「人と自然が共存し、持続可能な未来へつながる社会」を実現します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ☐ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

衛星データ×AIを活用した社会課題解決ソリューションを提供し、水インフラの管理、再生可能エネルギーの最適化、農業のスマート化、カーボנקレジットの精度向上など、多様な分野で自治体や企業の意思決定を支援。衛星データの特性を活かした実用的なソリューションを社会実装できることが強みです。特に、独自技術による地表面温度の解析に強みを持ち、研究開発にとどまらない実用的な課題解決法を提案。自治体や企業の衛星データ活用を支援しています。このようにデータの力で社会課題を可視化し、持続可能な未来を創造します。



意思決定を加速する デジタル地球儀
天地人コンパス

コミュニケーター
からひとこと



神藤 拓実

地域や国を越えて、衛星データとAIでソリューション提供できるJAXAベンチャーです。マレーシアなど海外にも事業を展開しています。様々な技術や、各地域のリソースと融合することで、インフラ管理をはじめとしてさらなる精度向上や共同サービス開発を検討できます。

■ 会社概要

代表者 櫻庭 康人
創業/設立 2019年5月27日
事業内容 衛星データを使った土地評価コンサル、
サービス開発・運用
従業員数 78名
所在地 東京都中央区日本橋1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング 5階
THE E.A.S.T. 日本橋一丁目 ROOM 13

WEB <https://tenchijin.co.jp/>
その他 日本で初めてJAXAから資金調達を受けた宇宙ベンチャー企業/JAXAの知的財産や業務知見を活用した事業を行う「JAXAベンチャー」制度から認定/衛星を通じた宇宙からの視点で、企業の課題や地球規模の環境問題・社会課題を解決。社会全体を改善する



衛星データを活用した課題解決のためのソリューション提供およびコンサルティング



株式会社 山田商会ホールディング
YAMADA SHOKAI Holding Co., Ltd.

株式会社 山田商会ホールディング

● 生活インフラに関する新規事業開発

知識
製造業
宣言

エンジニアリングの力で人と地球の未来を灯す

特 徴

- ▶ 100年以上蓄積してきた知識とエンジニアリングの力
- ▶ 人の生活と地域のインフラを守りつづけてきた使命感
- ▶ 環境や社会の変化を理解し、新事業に挑戦するマインド

解決したい課題、実現したい未来

地球温暖化に伴う自然災害の深刻化、インフラの老朽化、高齢化、人口減少などの急激な変化が到来する中、まちや国、地球のレジリエンスを高め、人々の生活を豊かにすることを目指しています。現在は、エネルギー、防災、住環境、インフラメンテナンスの4分野でディープテックとの共創による事業開発に挑戦しています。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

グループ全体として、100年以上、ガス・水道・電気・空調・通信等の生活インフラ全般に関する企画・設計・工事を手掛けてきました。これまで培ってきたノウハウや知識と、地域課題解決のための技術やしぐみを開発するベンチャーとの共創を通じて、変化する時代においても人と地球のレジリエンスを向上する事業を開発しています。現在は、広域災害オペレーションシステムを手がけるベンチャーや、世界最小級のドローンを開発するベンチャー、小型・分散型の陸上養殖システムを開発するベンチャー等との事業連携を行っています。



小型ドローンによる文化遺産
の床下点検の様子

コミュニケーター
からひとこと



松原 尚子

これまでに築き上げてきた強靱な基盤とアセットを活用しながら、人や地球の課題を解決する新事業を生みだしたいという強い情熱をもっています。東南アジア等の海外展開も視野に入れ、共創の可能性のある仲間を探しています。ぜひブースでディスカッションしましょう。

■ 会社概要

代表者 …… 山田 豊久
創業/設立 …… 1906年/2016年 9月16日
資本金 …… 3,000万円
事業内容 …… 100年以上続く株式会社山田商会を中心とした10社のグループ会社の統括及び新規事業の開発
従業員数 …… 835名(グループ全体)

所在地 …… 愛知県名古屋市中熱田区桜田町19-21

WEB …… <https://www.yamada-hd.co.jp/>

その他 …… 関連会社に(株)山田商会/(株)プロサイトスタッフ/Kei-Yオート(株)/(株)ニューウェルス/(株)Z・NAG/YSデザインベトナム(有)/(株)オーヴァル建築設計事務所/(株)同和設備/(有)松本電機/(株)北伸



代表取締役社長 山田 豊久



株式会社テラ・ラボ

● 航空宇宙、空間情報通信業

知識
製造業
宣言

大規模災害発災時にいち早く長距離無人航空機（固定翼機）で立ち向かいます

特 徴

- ▶ 南海トラフ地震を想定した大規模災害時における官民連携の推進
- ▶ 垂直離発着型長距離無人航空機（固定翼機）による情報収集
- ▶ 広範囲、高速、高頻度の災害時情報収集支援システムの構築

解決したい課題、実現したい未来

株式会社テラ・ラボは、南海トラフ地震に備え、ドローンや衛星データを活用した早期被害把握と情報共有の仕組みを構築。迅速な救助・支援を可能にし、被害の最小化と安全な未来の実現を目指します。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☒ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

株式会社テラ・ラボの「テラドルフィン」は、長時間・広範囲の飛行が可能な国産の固定翼型ドローンです。災害発生時の迅速な被災状況の把握やインフラ点検、広域監視などに活用され、高精度なデータ取得を実現します。自社開発による高い技術力と運用実績を強みに、通信インフラが寸断された環境下でも安定した飛行と情報収集が可能。自治体や企業との連携を通じ、安全・安心な社会の実現を支えています。



大規模災害における長距離無人航空機（固定翼機）による情報収集支援システム

コミュニケーション
からひとこと



長谷川 和宏

サンダーバードのような民間企業主体での災害対策システム構築を目指す会社です。防災文脈の連携に加え、平時における固定翼ドローンや地域消防等とのネットワークを活用したビジネス開発など防災以外の新規事業アイデアも積極的に推進していますので、ぜひ議論してみてください。

■ 会社概要

代表者 …… 松浦 孝英

創業/設立 …… 2014年3月24日

資本金 …… 7億円

事業内容 …… 株式会社テラ・ラボは、災害対策やインフラ点検向けにドローン・衛星を活用した空のデータサービスを提供します

従業員数 …… 6名

所在地 …… 愛知県春日井市不二が丘3-28

WEB …… <https://terra-labo.jp/>

その他 …… 2020年9月 JapanDrone2020 ニュービジネス部門最優秀賞 / 2021年9月 第9回ディーブテックグランプリ 企業賞受賞 / 2022年3月 リアルテック・ベンチャー・オブ・ザ・イヤー グロース部門 受賞 / 2022年3月 「新しい東北」復興・創生の星の顕彰受賞 / 2024年1月 PLATEAU STARTUP Pitch 第2弾 審査員特別賞受賞



代表取締役 松浦 孝英



株式会社 Liberaware

●産業小型ドローンメーカー

知識
製造業
宣言

ドローン技術でインフラ保全の課題を解決し
安全な世界を実現する

特徴

- ▶ 世界最小クラスの産業用小型ドローンを開発
- ▶ ドローン撮影映像の解析、編集まで一貫したデジタルツイン技術を提供
- ▶ JR 東日本グループとの合併会社 (CalTa 株式会社) の設立など、共同での事業開発も推進

解決したい課題、実現したい未来

私たちは独自開発の「産業用小型ドローン」を活用し、社会インフラにひそむ様々なリスクを明らかにすることで未曾有の事故や災害を未然に防ぎ、安心な暮らしの維持に貢献します。また、危険の多いインフラ保全業務をドローンで代替することで、誰もが安全な社会を作りだします。人が行けぬ場所へ。人の安全の未来へ。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社独自開発の「超狭小空間点検用ドローン IBIS2」は、屋内狭小空間の点検・計測に特化した世界最小級のドローンです。高温有毒ガス環境下や狭所等、人が容易に立ち入れない「狭くて、暗くて、危険な」環境に進出し、従来の目視点検を代替します。すでに鉄道業界や製鉄業界のインフラ等、数多くの現場で導入されており、最近では能登半島地震における倒壊家屋調査や、福島第一原子力発電所における炉心格納容器内の調査にも採用されています。国産ならではの迅速なサポート体制と撮影データの解析サービスを含め、高い評価を受けています。



超狭小空間点検用ドローン IBIS2

コミュニケーター
からひとこと



長谷川 和宏

自社開発の「産業用小型ドローン」を武器に点検サービス等を提供する企業です。ドローンは様々な活用が期待されており、Liberaware も今回参加している山田商会ホールディングをはじめ、多くの企業と連携を進めています。みなさんとの掛け算で新たなドローン産業を生み出しましょう！

■会社概要

代表者 関弘 圭

創業/設立 2016年8月22日

資本金 20億円(資本剰余金含む)

事業内容 産業用小型ドローンの開発
製造、販売。ドローンによる点
検サービス。映像データ解析
及び3次元化サービス。

従業員数 71名

所在地 千葉県千葉市中央区中央3-3-1

WEB <https://liberaware.co.jp/>

その他 Japan Drone & AAM Awards 2023
Grand Prize (最優秀ハードウェア) /
インフラDX大賞 優秀賞 / 2023年度
GOOD DESIGN 賞 / 2023年度中小企
業優秀新技術・新製品賞 優秀賞 / 千葉
ものづくり認定製品



能登半島地震被災地に派遣された
弊社ドローン班



津南醸造
TSUNAN SAKE BREWERY

津南醸造株式会社

● 環境共生型の酒造り・資源活用

知識
製造業
宣言

100年後も地域の環境と酒造りの営みが
共生する社会をつくる

特徴

- ▶ 豪雪地という環境を活かした雪中蔵での酒造り
- ▶ 資源を無駄にせず、副産物を循環する仕組みを構築
- ▶ 海外展開を通じて次世代の酒類産業における新たな価値創造に取り組む

解決したい課題、実現したい未来

津南という地域の環境だからこそ生まれる価値を最大限に活かし、効率化を目指した工業製品を作るのではなく、暮らしと共に育む地域産業として、水、土、人を大切にしたい酒造りを目指します。できる限り自然界から生まれるものを活用して、100年先も続く環境と共生した未来を醸成します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

◎ 健康・医療・生活

◎ 食料・農林水産

□ 海洋・宇宙

□ 情報通信

□ モビリティ

□ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

世界最大の階段と呼ばれる河岸段丘や、新潟屈指の積雪量を誇る豪雪地、そして縄文時代から文化を紡いできた暮らしがある津南の地で、地域の素材にこだわったテロワール日本酒を製造・販売しています。また、酒造りの副産物としてできる酒粕を発酵ジェラートなどの商品にアップサイクルして、新たな価値を生み出す循環型資源活用の取組みにも力を入れています。近年では、海外における日本酒の価格競争力向上と流通最適化を目指し、スペインやインドネシアで日本酒ボトリング事業の実現可能性調査を開始しています。



“旅飲み” 日本酒「GO PIN BOTTLE」

コミュニケーター
からひとこと



松原 尚子

日本の地域の魅力や価値を引き出し、それを世界に発信するための商品づくりに強みがあります。代表の鈴木さんは創造力が豊かで、異業種・異分野においても様々な切り口から連携の可能性を探索し、形にしていくアントレプレナーです。一緒に地域の新たな価値を生み出しましょう。

会社概要

代表者 …… 鈴木 健吾

創業/設立 …… 1996年1月

資本金 …… 4,964万円

事業内容 …… 清酒の製造・販売、日本酒製造時の副産物を活用した商品開発・販売

従業員数 …… 12名

所在地 …… 新潟県中魚沼郡津南町大字秋成7141

WEB …… <https://tsunan-sake.com/>



津南醸造の販売チームと共に撮影。
(写真右端) 代表取締役 鈴木 健吾



株式会社アグリノーム研究所

● 一次産業イノベーター

知識
製造業
宣言

300年先も人類が
豊かな農業を営める社会を築く

特徴

- ▶ 野外用カメラ付きゲートウェイによるAI駆動社会の実装
- ▶ AI開発を加速させるプラットフォームの提供
- ▶ 最先端アグリテックによるカスタムワインプロデュース

解決したい課題、実現したい未来

一次産業分野ではAIを活用した取り組みが増えていますが、研究開発の資金、時間的制約や人的リソースの限界がハードルとなっています。開発に必要な人材・機材の調達や、教師データの取得、リソース面の負担を下げる開発環境プラットフォームをハード・ソフト両面で提供し、AI駆動型社会の実装を加速したい。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

アグリノーム研究所は、農業の現場で実践的な作業をマネジメントしながら、現場課題を拾い上げて解決する能力に長けています。一次産業全体が抱える課題を解決するために必要なピースを見つけ、いかに実装すべきかを文化・哲学的側面から考えられる、技術に偏り過ぎない組織です。実務・実業と研究にとどまらず、人材教育にも余念がなく、社のMission達成のために必要なことは気合で何でもやります！



カメラ付きゲートウェイ Field
Analyzer-∞ (MUGEN)

コミュニケーター
からひとこと



内田 早紀

植物工場を活用した比較試験に加え、農業現場でのドローン活用の可能性も検討しており、農業・農学の知見を積極的に活用して農業の革新を目指しています。従来の農業の概念にとらわれることなく、多様な技術との融合による新たな可能性を追求しています。

会社概要

代表者 …… 西岡 一洋 / 宮内 陽介
創業/設立 …… 2016年11月29日
資本金 …… 1,000万円
事業内容 …… スマートセンシング事業 / ドローンサービス事業 / ワイナリー事業 / 植物工場・粉末化事業
従業員数 …… 2名

所在地 …… 東京都墨田区八広 3-39-5
ライオンズマンション墨田101
アグリガレージ

WEB …… <https://agrinome.jp/>
その他 …… 二等無人航空機操縦士



畑に立ってこそ農学が活きる



株式会社Eco-Pork

● 畜産 DX システムの開発・提供

知識
製造業
宣言

AI・IoT・ICTで畜産課題を解決し
次世代に食肉文化を残す

特 徴

- ▶ 畜産業界のDXを牽引するスタートアップ
- ▶ AI自働豚体重測定カメラを国内で初めて実用化
- ▶ 養豚DXシステムは国内シェア約14%、全国80カ所以上の養豚農家で活用

解決したい課題、実現したい未来

タンパク質の需要が供給を上回ってしまう「タンパク質危機」が、早ければ2027年に訪れる可能性があります。私たちはDXソリューションの提供によって養豚を持続可能化し、タンパク質の未来を守ります。そして「データを活用した循環型豚肉経済圏の共創」を通じて、養豚を核とする循環型社会を実現していきます。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☐ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

生産性向上と環境負荷低減に繋がる、データを活用したICT・IoT・AIソリューションを養豚事業者向けに開発・提供しています。養豚のすべてを可視化するクラウドサービス「Porker」は現在国内シェア14%、年間220万頭についてデータを蓄積しています。現在は、画像から体重を推計するAI豚カメラや各種IoTセンサーによる豚舎環境をコントロールしたDX豚舎を開発し、2024年からは自社農場にて実証実験を開始。2027年に生産量50%増加、飼料効率30%向上、投薬量80%削減を目指しています。



DX 豚舎における豚の個体管理の一例（イメージ）

コミュニケーター
からひとこと



福田 裕土

ものづくり×AI・IoT・ICTで日本の畜産DXを牽引するスタートアップです。畜産現場と対話し、ICT・IoT・AIを活用して豚肉生産の全プロセスを可視化することで、食肉生産に関わる課題を解決し、持続可能な畜産業の実現を目指しています。

■ 会社概要

代表者 神林 隆
創業/設立 2017年11月29日
資本金 1億円
事業内容 養豚生事業者向けDXソリューション開発・提供、豚肉流通事業、養豚に関する研究など
従業員数 35名
所在地 東京都千代田区神田錦町3-21-7 2階
WEB <https://eco-pork.com/>

その他 【保有特許】「畜産自動管理システム」関連等18件 / 【採択】経済産業省「J-Startup Impact」(2023年)、農林水産省「スマート農業実証プロジェクト」(2020-2024年)、「中小企業イノベーション創出推進事業」(2023年)



代表取締役 神林 隆

UntroD
Capital Japan

UntroD Capital Japan 株式会社

●ベンチャーキャピタル

知識
製造業
宣言

明確な意思を持ち、未踏領域に投資する。

特徴

- ▶ 地球や人類の課題解決に資するディープテック・スタートアップの社会実装を目的としたファンドを運営
- ▶ 上場前後のクロスオーバー・インパクトファンドを運営
- ▶ 東南アジアの社会課題解決に向けたディープテック・スタートアップに投資

解決したい課題、実現したい未来

UntroDは、気候変動、資源問題、食糧危機、エネルギー、医療の課題を解決し、持続可能な未来を創出します。ディープテックの力を活用し、未踏領域の技術革新を加速させ、社会実装を推進。世界規模での変革を促し、次世代の豊かで持続可能な社会を実現します。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ✓ 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

ディープテック領域に特化した投資を通じて、社会課題の解決と持続可能な未来の創出を目指します。シード・アーリー期の技術革新を支援するリアルテックファンドや、上場前後の成長企業を支援するクロスオーバー・インパクトファンド、東南アジアの課題解決を推進するリアルテックグローバルファンドを運営。未踏領域への投資と、研究・技術の社会実装を加速する専門性が強みです。



コミュニケーター
からひとこと



井上 麻衣

かつて「ディープテック」という言葉すらない時代から研究開発型スタートアップに投資を開始。光の当たらなかった分野に資本と人材が流入する道を切り開いてきました。昨年は社名を「未踏」を意味するものに変え、まだ可能性が試されていない到達困難な領域に挑戦しています。

会社概要

代表者 …… 永田 暁彦
創業/設立 …… 2022年11月29日
資本金 …… 2,000万円
事業内容 …… ディープテック投資を通じた
社会課題の解決と産業創造
従業員数 …… 20名

所在地 …… 東京都港区虎ノ門2-2-1
住友不動産虎ノ門タワー 17F
WEB …… <https://untrod.inc/>



HardLass®

ハドラスホールディングス株式会社

● コーティング剤開発

知識
製造業
宣言常識を塗り替えるコーティングで
世界の環境・衛生問題を解決する

特徴

- ▶ 環境問題や衛生問題に対して、コーティングによって解決を目指す
- ▶ 産学連携体制による高い開発力
- ▶ 顧客のニーズに応じた柔軟な商品提案・開発体制

解決したい課題、実現したい未来

既存のコーティング材では実現できなかった、高耐久・多機能性を両立させた革新的コーティング剤を開発。これにより、インフラ・設備の老朽化問題、製品の寿命延長、資源の有効活用・清掃人材不足解消といった社会課題を解決し、持続可能な社会を実現します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

☑ 健康・医療・生活

□ 食料・農林水産

□ 海洋・宇宙

□ 情報通信

☑ モビリティ

☑ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

弊社は、独自のナノマテリアルコーティング技術を基にしたコーティング剤と、塗工のサービスを提供しています。長期持続性を持つ超親水コーティング、即効性と持続性を有する抗菌・抗ウイルス・防カビ・消臭コーティング、フッ素フリーコーティングなど、環境問題や衛生問題に着目したコーティング技術の開発に注力しています。祖業であり現在も手掛ける塗装業・リフォーム業で培ったノウハウやリソースを活かし、顧客ニーズに合わせたコーティング材の開発・製造から施工までをワンストップで提供しています。

コミュニケーター
からひとこと

岡崎 敬

モノの表面は必ず何かと接していますが、適切なコーティングをすればウイルス感染の防止やさびによる劣化などを抑えられます。表面構造によっては空気抵抗の低減など、性能面の改善も可能です。

■ 会社概要

代表者 …… 山本 英明

創業/設立 …… 2000年2月29日

資本金 …… 1億円

事業内容 …… ユニークな独自コーティング技術を開発しているベンチャー企業。持続可能で高性能なナノマテリアルコートを通じて未来を支えます

従業員数 …… 73名

所在地 …… 東京都中央区晴海1-8-10

晴海トリトンスクエアX棟17階

WEB …… <https://www.hardolass.com/>

その他 …… ISO14001, 9001取得 / 建築業許可 / 建築士事務所登録 / 都立産技研 INNOVATION PARTNERSHIP AWARD 2022 受賞 / 企業家賞イノベーション賞受賞 / 千葉県経営革新優秀企業表彰





株式会社ハイドロネクスト

● 水素精製モジュールメーカー

知識
製造業
宣言

水素精製技術で水素量不足を解決し、
持続可能な世界を実現する

特徴

- ▶ 水素を含む廃棄ガスからでも高純度な水素精製が可能
- ▶ 精製した水素はISO14687 Grade-D(FCV供給レベル)の品質基準を達成
- ▶ 水素社会・炭素循環型社会の実現に向けたプロジェクト「SUISO no MORI」で実証実験を開始

解決したい課題、実現したい未来

当社の水素精製モジュールは、廃棄ガスなどから高純度水素を精製できる技術です。これにより、地産地消型の安定した水素供給が可能になります。太陽光や風力など再生可能エネルギーに頼る水素供給は天候などの影響を受けるため不安定です。当社の技術はその課題を解決し、日本政府が2050年に掲げる水素導入計画2000万tの実現に貢献します。

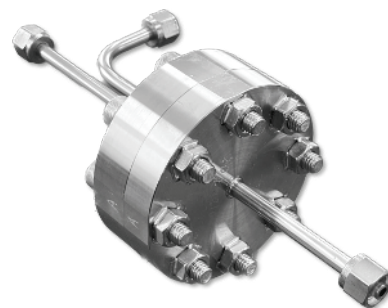
注力したい領域

◎エネルギー・環境・資源

- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社の水素分離膜はバナジウムを使用しており、従来のパラジウム膜に比べ、低濃度の水素ガスからでも超高純度水素(ISO14687 Grade-D)を取り出せます。これにより、バイオガスや副生ガスなどからの水素精製が低コストで実現でき、水素価格の引き下げにも貢献します。また、単に膜を提供するだけではなく、1) ご相談 → 2) PoC試験(少量評価) → 3) パイロットモデル試験(中量評価) → 4) 本格導入まで、各フェーズにおいてお客様の課題に寄り添ったコンサルティングと支援ができることが強みです。



水素精製モジュール 外観

コミュニケーター
からひとこと



伊知地 聡

家業もありながら、「世界を救う事業を推し進めるアントレプレナー」に魅せられて、地元大分で研究されていた水素分離の基本原則を、実用レベルに進化させ、社会実装するために起業した永井社長。その情熱と行動力に惹かれて、優れた仲間がどんどん集まってきています。ぜひみなさんも巻き込まれてください！

会社概要

代表者 永井 正章
創業/設立 2015年12月25日
資本金 1億7,130万円
事業内容 水素精製装置の研究開発、装置の販売及び、水素のコンサルティング業務
従業員数 9名
所在地 大分県大分市大字三佐650-2
WEB <https://www.hydroenxt.co.jp>

その他 2021年2月 第18回大分県ビジネスプラングランプリ 最優秀賞受賞 / 2024年9月 エコテックグランプリ 旭有機材賞受賞 / 2024年9月 J-Startup KYUSHU(第3次)認定 / 2025年1月 Deep Tech Venture of the Year 2025 グロース部門 受賞





有限会社安久工機

● 開発試作機械設計・製造量産支援

知識
製造業
宣言

「ここをモノづくり天国にする」
ベンチャーフレンドリー宣言！

特徴

- ▶ 人工心臓を生み出すゼロ→イチの機械機構設計、研究試作開発一筋56年！
- ▶ 工学博士が率い、医学博士が生まれる、人工心臓と共に成長してきた町工場
- ▶ 「図面はない」のが当たり前、この世にないモノづくりに共に挑戦します！

解決したい課題、実現したい未来

『ここをモノづくり天国にする』

羽田空港を経て蒲田駅を一步出たら、街中が誰も見たことのないプロトタイプで溢れている。挑戦を歓迎し創造を後押しするのはこのマチの歴史が培ったモノづくりの力。どんな失敗も笑い飛ばす職人魂。大失敗は大挑戦の証。ここは巨大な実験場だ。この街をまるごとモノづくりの天国にしてしまおう。

注力したい領域

- ✓ エネルギー・環境・資源
- ◎ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- 情報通信
- ✓ モビリティ
- インフラ・住宅

製品・サービス、強み

「人間の心臓と鼓動を再現した人工心臓を作りたい」「目の見えない子ども達のために”描いてさわれる”ペンを作りたい」「アイデアはあるが設計ができない、相談の仕方わからない」「これって誰に聞けばいいのだろう？」そんなモノづくりのアイデアやモヤモヤを解決し、新しい価値の創造に構想・研究・開発段階から伴走すること。それが私たちのシゴトです。ベンチャーフレンドリーな人だけを集めたコミュニティ「ベンチャーフレンドリープロジェクト」を牽引し、共創拠点「ヤスラボ」を運営するなど、イノベーション創出に力を入れています。



医療機器・工学等研究用途をはじめ1万5千件を超える試作開発、ベンチャー事業の立ち上げを支援

コミュニケーター
からひとこと



藤田 大悟

医療機器を中心に、世にないものを生み出していく町工場。映画『ディア・ファミリー』で人工心臓がテーマになった際のモデルとなった会社です。流体を巧みに操ることが得意ですが、ロボットやサウナストーブなど幅広く夢の実現に向けて一緒に考え抜く匠集団です。

■ 会社概要

代表者 田中 隆

創業/設立 1969年8月8日

資本金 1,000万円

事業内容 原理試作・機能試作・量産試作・特注機械装置・治具等製作・機構・機械設計、開発生産コンサルティング

従業員数 6名

所在地 東京都大田区下丸子2-25-4

WEB <https://www.yasuhisa.co.jp/>

その他 〈特許〉第3229487号 血液循環シミュレータ／第5410789号 描画ペンなど多数

〈受賞歴〉経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」2014／大田区モノづくり優秀技能者「大田の工匠100人」2009／大田区新製品・新技術コンクール 特別賞「触図筆ペンユニット」2008など多数



ベンチャーフレンドリー
プロジェクト

ベンチャーフレンドリープロジェクト
推進中！



株式会社メタジェン

● 腸内環境研究の支援と社会実装

知識
製造業
宣言

腸内環境に合ったヘルスケアを
あたりまえにする

特 徴

- ▶ 研究者が自らの手で社会実装を目指す腸内環境研究のリーディングカンパニー
- ▶ 創業以来10年以上に渡って蓄積した国内有数の腸内環境データベースを保有
- ▶ 科学的根拠に基づいて腸内環境をデザインし、一人ひとりの健康を実現する

解決したい課題、実現したい未来

腸内環境が私たちの全身の健康に密接に関わっていることが次々と明らかになってきていますが、腸内環境は個人固有であるため、健康課題の解決にとるべきアプローチも一人ひとり異なります。私たちは腸内環境情報を適切に活用することで一人ひとりの健康をデザインし、ひいては病気ゼロを実現したいと考えています。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☒ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

腸内環境を科学的根拠に基づき制御する「腸内デザイン」を事業コンセプトとした研究開発支援事業および層別化ヘルスケア事業を行っています。アカデミアで培った腸内環境研究の専門家による、試験計画から解析データの解釈・考察、その先の事業化提案まで、腸内環境研究とその社会実装を一気通貫でサポートしています。腸内デザインのコンセプトを共に広め、腸内デザイン市場の創出を目指す企業連携プロジェクト「腸内デザイン共創プロジェクト」を運営すると共に、腸内環境を起点とした食のパーソナライゼーションを牽引しています。



腸内環境の制御までを念頭に置いた
腸内環境評価手法「メタボロゲノミクス®」

コミュニケーター
からひとこと



松原 尚子

人間の身体に大きな影響を与える腸内環境を制御して病気ゼロの社会をつくりたい、という強い情熱をもったベンチャー企業です。自社独自の解析技術を軸に、高い研究開発力を備えています。共に新たなヘルスケア産業をつくる仲間を探しています。

■ 会社概要

代表者 福田 真嗣
創業/設立 2015年3月18日
資本金 3,500万円
事業内容 メタボロゲノミクスを駆使した研究開発支援、腸内環境データベースを活用した商品・サービスの開発支援
従業員数 23名
所在地 山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2
WEB <https://metagen.co.jp/>

その他 2015年 バイオサイエンスグランプリ 最優秀賞 受賞 / 2017年 リアルテックベンチャー・オブ・ザ・イヤー (スタートアップ部門) 受賞 / 2019年 J-Startup 選定 / 2022年 Well-being & Age-tech Award デジタル大臣賞 受賞



業務風景



株式会社YDM

● 医療機器の製造販売

知識
製造業
宣言

医療品質の技術力で人々の暮らしを支える

特徴

- ▶ 図面が無くても企画から製品化が可能
- ▶ 国内外の市場で証明された品質管理
- ▶ 3DCADCAM、NC、5軸MC製法と手工技術の融合

解決したい課題、実現したい未来

精密加工・設計・品質保証の技術を核に、医療機器で培った「高精度な加工技術と安心安全」の強みを活かし、医療分野に限らず、人々の暮らしの中の「切る・つかむ」に関する不便を解決します。この技術を理美容や工芸など幅広い分野に展開し、より快適な生活の実現を目指します。

注力したい領域

□ エネルギー・環境・資源

◎ 健康・医療・生活

□ 食料・農林水産

□ 海洋・宇宙

□ 情報通信

□ モビリティ

□ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

歯科用鋼製器具分野で50～60%のシェアがあり、特に歯石除去に用いる「Gキュレットest」や歯科矯正で使用する「矯正プライヤー」、根管治療で使用する「GPリムーバー」は国内外から高い評価を得ています。強みは「ドクターの要望に対して的確に図面化出来る設計力」「求められる性能、強度、耐久性を検証する為の試験設備の充実」「SUS420J2をはじめとする難削材のNC旋盤加工、マシニング加工を可能とする金属加工技術」「ISO13485に基づく設計開発から薬事申請、製造まで一貫した品質管理能力」です。

Point 1

磨かれたシャープな刃と
高硬度の鋼材により切れ味が持続



コミュニケーション
からひとこと



岡崎 敬

ニーズに対して設計から真摯に向き合い、難削材を高精度に加工する技術、品質管理まで対応できるのが納得のメンバーが集まっています。現在は歯科医療機器を中心にしていますが、第一種医療機器製造販売業の許可も得ており、技術および想いを広く届ける事業に意欲的です。

会社概要

代表者 山浦 元裕

創業/設立 1948年3月1日 / 1958年8月1日

資本金 2,400万円

事業内容 医療機器製造販売

従業員数 118名

所在地 埼玉県東松山市今泉28

WEB <http://www.ydm.co.jp/>

その他 第一種医療機器製造販売業 / 医療機器製造業 / 高度管理医療機器等販売業 / ISO13485認証取得





株式会社ヒューマノーム研究所

● AI 開発・共同研究

知識
製造業
宣言

AIでデータとヒトを繋ぎ、
人々の豊かな生活を実現する

特 徴

- ▶ AI+ 様々な分野の専門家が、データ活用のお悩みを解決
- ▶ 課題整理から開発・人材育成、コンサルテーションまでご提案可能
- ▶ データを活かした未来づくりに向け、お客様との信頼関係の構築に努めます

解決したい課題、実現したい未来

社内で眠る情報。開発したままのAI。そんな「可能性を秘めた資産」から価値を見いだせたら、事業も、社会も、よりよく変わると我々は信じます。知を深めるアカデミアの視点と、現場で培ったビジネスのノウハウ。この両輪で皆様の課題解決を全力で支援し、データでより良い選択と行動ができる社会を実現します。

注力したい領域

- ☐ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☒ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

株式会社ヒューマノーム研究所は、アカデミアとビジネスの両現場で培ったノウハウを活用し、未活用データから新たな価値を創出することで、企業の課題解決に貢献してきました。当社は共同研究・開発支援サービスを通じ、データ解析による事業成長をサポートし、データ活用の専門家による包括的な支援を提供します。企業がデータドリブンな意思決定を行い、持続可能な成長を実現する未来を目指します。

"人間とは何か"に挑む"をテーマに、リアルワールドへAI技術を展開しています



AI 開発・共同研究を行うことで、様々な課題解決に取り組みます

コミュニケーター
からひとこと



伊知地 聡

リバネス内では「AIといえばヒューマノーム」と認知されるほど、圧倒的な技術力と柔軟な対応力を備えています。特に医療系や、政府のプロジェクトになるような高度な開発案件の実績が豊富です。最近ではIT系以外の人材も増やして対応範囲を拡充中ですので、ぜひお声がけください！

■ 会社概要

代表者 瀬々 潤
創業/設立 2013年2月14日
資本金 2,000万円
事業内容 ヒトの理解に関連する学術的
統合解析技術の研究開発 等
従業員数 15名
所在地 東京都中央区築地2-4-10
SAテナハウス2階
WEB <https://humanome.jp/>

その他 【採択履歴】経済産業省・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) / GENIAC / 中小企業庁: 令和元年度補正・令和3年度補正 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 等



AI・科学的な知見に根ざした解析から、
新たな価値を創造します



株式会社ツガワ

● 受託開発製造業

知識
製造業
宣言

持続可能なアカルイミライをカタチづくっていくために、そのキッカケを想像し、創造し続けます

特徴

- ▶ 業種・業界にとらわれない製品製造能力
- ▶ 設計開発～輸送・設置までの一貫生産体制で、ニーズに合わせた対応が可能
- ▶ 受託生産事業で培った技術力を活かして、自社製品開発に取り組む（社内外製品開発）

解決したい課題、実現したい未来

持続可能なミライのために、ツガワグループができることはなんだろう？ 大きなことはできないかもしれない。けれど、一人ひとりがクリエイティブな意識を持ちながら、ツガワならではのモノや環境をコツコツと創っていくことはできる。事業を通じて関わるすべての人たちのアカルイミライのために。グローバルにそのキッカケを想像し、創造し続けます。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

- ✓ 健康・医療・生活
- ✓ 食料・農林水産
- ✓ 海洋・宇宙
- ✓ 情報通信
- ✓ モビリティ
- ✓ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

私たちは700社以上のパートナー企業とともに様々な製品を製造開発しています。一例を挙げるとモジュール型空中ディスプレイ端末「Air Smart Terminal」は物理的に接触せず操作できるため、指紋や汚れが画面に付着することなく、特に公共の場や医療現場で有用です。画面への接触がないことから、タッチパネル自体の摩耗や劣化が少なく、耐久性にも優れています。操作性も良く、様々な状況や環境での使用に対応。製品はほんの一例です。私たちは顧客のニーズに応え、ものづくりを続けます。



あらゆる場所や設置レイアウトに対応できるモジュール型の空中ディスプレイ端末

コミュニケーター
からひとこと



伊地知 聡

関東経済産業局事業で、香り系スタートアップと迅速な連携を実現。香りと映像の組み合わせは、記憶形成や感情喚起に有効です。両社は空中ディスプレイや、ゲーム機への応用も視野に議論を進めています。体験型コンテンツに新風を吹き込む企画に関心があれば、ぜひお声がけください！

会社概要

代表者 …… 駒田 義和

創業/設立 …… 1953年6月21日

資本金 …… 3,500万円

事業内容 …… 金融・流通端末、画像処理機・医療機器等の設計・製造/エンターテインメント機器等の設計・製造OEM生産（開発、設計から完成品まで）/精密通信機部品の製作など

従業員数 …… 660名

所在地 …… 神奈川県横浜市港北区新羽町1181

WEB …… <https://www.tsugawa.com/>

その他 …… 【認 証】ISO9001 / ISO14001 / ISO13485 【受賞歴】神奈川工業技術大賞：未来創出賞、その他【資格】工場板金【特級技能士】/機械板金【1級技能士、2級技能士】/その他多数保有



代表取締役社長 駒田 義和



タピルス株式会社

● メルトブロー不織布製造

知識
製造業
宣言

独自技術で”お客様のニーズに
合わせたものづくり”を実現します

特徴

- ▶ 1 マイクロメートル以下の極細繊維を使った「メルトブロー不織布」の専門メーカー
- ▶ 製品は、液体フィルター・エアフィルター・バッテリーセパレーターなどに活用される
- ▶ 40年以上技術を積み重ね、カスタマイズ製品の製作も可能

解決したい課題、実現したい未来

私たちが製造する「不織布タピルス」は、マイクロメートル単位の繊維を使用した、微孔性、多孔性、フィルター性能に優れる素材です。使う素材によって耐熱性や耐薬性を付与することができ、工業用から日用品まで幅広い分野に使用されてきました。この技術の新しい用途を開拓し、既存技術を追求して、お客様の課題を解決します。

注力したい領域

◎ エネルギー・環境・資源

☑ 健康・医療・生活

☑ 食料・農林水産

☑ 海洋・宇宙

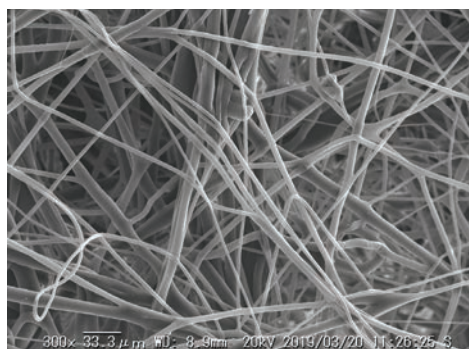
□ 情報通信

□ モビリティ

□ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

私たちは、液体フィルター・エアフィルター・バッテリーセパレーター等に使われる「メルトブロー不織布」の専門メーカーとして1987年に創業して以来、独自技術による高品質の製品を安定してお客様に提供しております。製品の最大の特長は、1 マイクロメートル以下の極細の繊維径で、この細さを利用して各種濾材に使用されています。製品は、お客様のご要望に合わせたカスタマイズが可能です。



メルトブロー不織布

コミュニケーター
からひとこと



滝野 翔大

樹脂を熱で溶かし、高温高速の空気流で糸状に吹き出し、繊維化して不織布を作る企業です。耐薬品性を持つバッテリーセパレーターや微粒子を補足できるマスクなど様々な用途の不織布を作る技術を有し、その知見を今まで活用されていなかった領域にも応用しようとしています。

会社概要

代表者 佐藤 能央

創業/設立 1987年7月31日

資本金 5,000万円

事業内容 日本国内工場およびタイ工場でのメルトブロー不織布の製造・加工、販売

従業員数 100名

所在地 東京都港区高輪3-19-15 5F

WEB <https://www.tapirus.co.jp>

その他 独自技術による高品質の製品を安定供給／多種多様なメルトブロー製品を供給／お客様のご要望に合わせて少量からカスタマイズ



全国知識製造業会議 2025 企業年鑑

発 行 2025年4月
制 作 株式会社リバネス

[お問い合わせ]
株式会社リバネス(担当:岡崎・伊地知・長)
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町1-4
飯田橋御幸ビル6階

TEL 03-5227-4198 / FAX 03-5227-4199
kmc@lnest.jp

ご参加いただき、ありがとうございます。
アンケートの回答にご協力ください。
今後の企画・運営の参考にさせていただきます。



全国知識製造業大賞

全国知識製造業大賞は、
「全国知識製造業会議」を起点に新たな知識を生み出し、
挑戦への一步を踏み出したプロジェクトを表彰する制度です。

世界の課題を捉え、解決に強い想いを抱く――。

その情熱は出会った様々な人に伝播し、巻き込み、やがてチームを組成します。知識製造業は、こうして集まる仲間が持ち寄った知識を、その情熱によって融合し、世界の課題を解決し得る新たな知識を生み出すものです。特に起爆剤となる技術をもつベンチャー企業と、豊富な経験によってその成長を加速できる中堅企業・中小企業との組み合わせには、製造業の従来の概念を大きく変革する可能性があります。

資金や人材の不足、未熟で不透明な市場など様々な困難を払拭し、世界を変えたいという強い想いで知識製造業に挑むその冒険は、世界に「ものづくり」の真価を改めて示すことにもなるでしょう。

全国知識製造業大賞は、こうしたチームのストーリーとともに、様々なケースを社会に提示することで、日本全国の知識製造業のうねりをさらに拡大していきます。

全国知識製造業会議
2025
開会式にて
2024年度の
受賞チームを発表！

当日生まれた連携案をぜひお知らせください！

全国知識製造業会議2025をきっかけに生まれたプロジェクトを対象として、次回(2026年2月6日実施予定)に全国知識製造業大賞2025の表彰を実施します。世界の課題を解決すべく、新たな仲間と共にスタートさせる連携案について、ぜひこちらからお知らせください。



なお表彰の対象は、お知らせいただいた連携案のうち、製品・サービスの開発に具体的に動き出しているプロジェクトから選出します。

また、これからスタートするプロジェクトに関してリバネスにご相談いただくことや、下記のパイロットスタートなどのサービスを通じたご支援も可能です。こちらもぜひご活用ください。

世界を変えるベンチャーとともに 「製品化」を目指す「パイロットスタート」



知識製造業に興味関心があるが、なかなか一歩目が進められない中堅企業・中小企業の皆様には、リバネスのサービス「パイロットスタート」によって、ベンチャー企業との連携創出支援を行うことができます。製品やサービスの「パイロット版」の開発に必要な体制構築まで一貫してサポートいたします。

こんな企業におすすめ

- 現業の課題解決や、新規事業創出へ動きたいが、動けていない。
- ベンチャー企業との連携に興味はあるが、進め方がわからない。
- ベンチャー企業と連携について議論したが、うまくいかなかった。
- ベンチャー企業との連携は進めたが、その後試作開発・サービス化まで進まなかった。

